

# 設置の趣旨等を記載した書類

## 資料目次

資料 1.	久留米大学医学部医療検査学科 3つのポリシーの関係と自己点検・評価を基盤とした内部質保証の体制	P. 2
資料 2.	久留米大学医学部医療検査学科 カリキュラムマップ	P. 3
資料 3.	日本臨床検査学教育協議会 平成30年度臨時総会 調査研究委員会「平成29年度進路状況調査および平成30年度入学状況調査」に関する報告	P. 4
資料 4.	久留米大学医学部医療検査学科設置に対する職能団体等からの要望書・意見書	P. 5
資料 5.	久留米大学医学部医療検査学科 カリキュラムツリー	P. 12
資料 6.	久留米大学医学部医療検査学科 時間割案	P. 13
資料 7.	教育課程と『臨床検査技師等に関する法律施行令第18条第四号に基づき厚生労働大臣が定める検体検査、生理学的検査、採血及び検体採取に関する科目』との対比表	P. 14
資料 8.	診療情報管理士養成科目（日本病院会）として登録予定の教育課程の科目	P. 15
資料 9.	久留米大学医学部医療検査学科 履修モデル	P. 16
資料 10.	久留米大学医学部医療検査学科 実習計画（週間計画）	P. 17
資料 11.	臨地実習前技能修得到達度評価項目一覧	P. 18
資料 12.	久留米大学医学部医療検査学科 臨地実習契約施設一覧	P. 19
資料 13.	久留米大学医学部医療検査学科 臨地実習の手引き	P. 20
資料 14.	臨地実習に伴う配慮のお願い	P. 62
資料 15.	臨地実習報告書	P. 63
資料 16.	久留米大学医学部医療検査学科 教員別授業・実習担当計画	P. 64
資料 17.	診療情報管理士認定試験受験資格を認める大学および専門学校の指定に関する規程（令和3年7月1日改正施行）	P. 65
資料 18.	日本病院会 診療情報管理士通信教育2023による養成校が行うべき科目	P. 65
資料 19.	久留米大学『教授の採用に関する特別規程』	P. 66
資料 20.	久留米大学医学部附属臨床検査専門学校 面積基準の算出根拠となる規程	P. 67
資料 21.	他学科・専門学校の実習施設を使用する時間割予定表	P. 76
資料 22.	久留米大学医学部医療検査学科 新規購入図書及び視聴覚教材	P. 77
別添資料	久留米大学医学部医療検査学科 診療情報管理士病院実習施設一覧	P. 87

# 資料1 久留米大学医学部医療検査学科 3つのポリシーの関係と自己点検・評価を基盤とした内部質保証の体制

## 久留米大学医学部 医療検査学科 (3つのポリシーの関係とその評価)

養成する人材像

メディカルサイエンスに精通し、  
多様で高度な医療のニーズに対応できる次世代型臨床検査技師

評価とPDCAによる改善

自己点検・評価

(年1回の学内検証・外部検証)

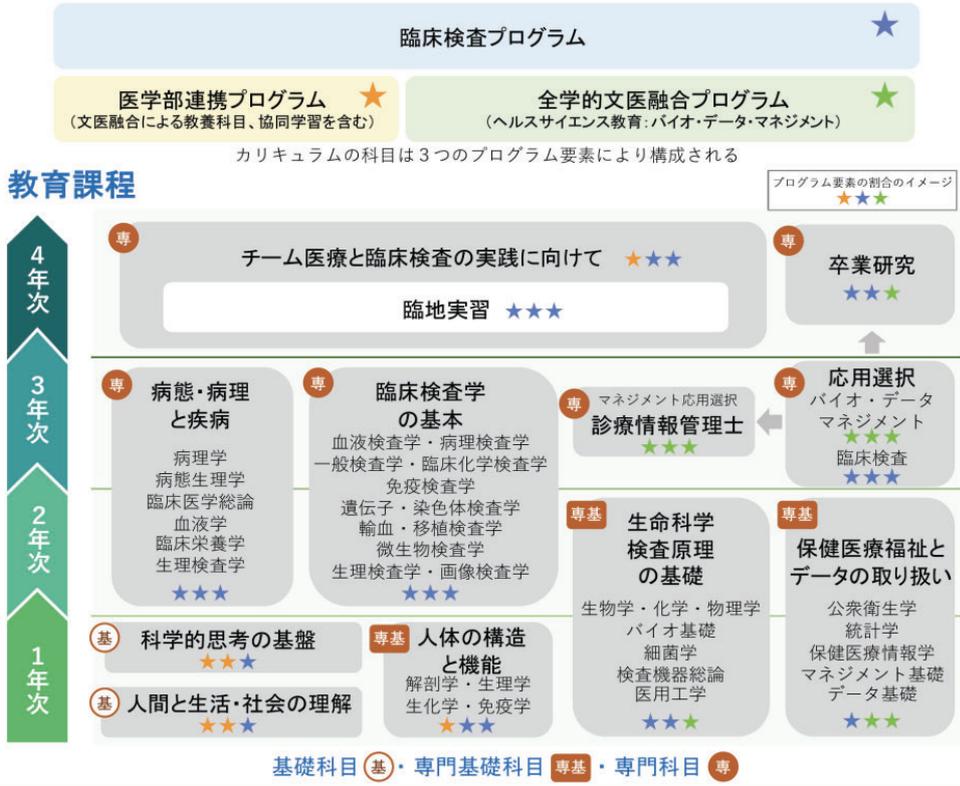
### ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針)



DPIに関する評価指標

- 卒業試験の成績
- 卒業研究の水準
- 臨床検査技師国家試験の合格率
- 就職先・就職率
- 大学院進学率

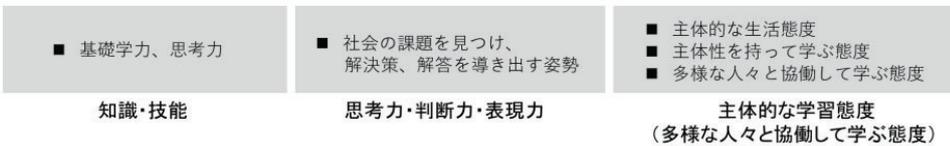
### カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)



CPに関する評価指標

- 臨地実習の評価
- 診療情報管理士試験の合格率
- 認定資格の取得
- 授業科目における到達目標の達成状況
- 定期試験の成績
- GPA

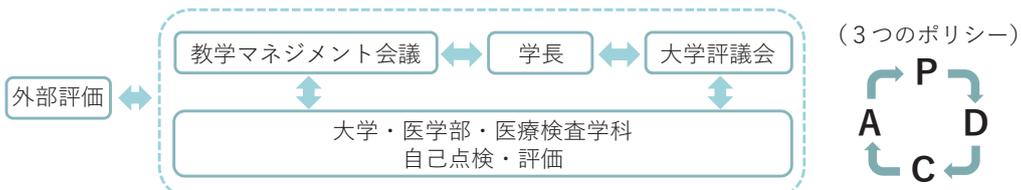
### アドミッション・ポリシー (入学者受入れの方針)



APに関する評価指標

- 入学者選抜方法  
学校推薦型選抜 (一般)  
一般選抜  
共通テスト利用選抜
- 受験者数

### 内部質保証と教学マネジメントの体制



区分	小区分	科目名(※は選択科目)	専修科コアピデンス		1. 高い倫理観と豊かな人間性		2. 臨床検査の基本的知識と実践能力		3. 臨床チームの一員として参画する能力		4. 多様な臨床検査のニーズに対応する能力		5. 科学的思考力と生涯学習の習慣			
			臨床検査プログラム	全学共同医療系コアプログラム	① 他者を思いやり、社会人としての良識と規範を遵守し、責任を担うことができる。	② 多様な価値観を尊重し、医学の領域にとどまらず、広い視野で課題を捉え、問題を認識している。	③ 臨床検査の知識と技能を修得し、基本的な検査結果を提供できる。	④ 検査結果の解釈と評価において適切に臨床検査を活用することができる。	⑤ 検査結果の解釈と評価において適切に臨床検査を活用することができる。	⑥ 検査結果の解釈と評価において適切に臨床検査を活用することができる。	⑦ 検査結果の解釈と評価において適切に臨床検査を活用することができる。	⑧ 検査結果の解釈と評価において適切に臨床検査を活用することができる。	⑨ 検査結果の解釈と評価において適切に臨床検査を活用することができる。	⑩ 検査結果の解釈と評価において適切に臨床検査を活用することができる。	⑪ 検査結果の解釈と評価において適切に臨床検査を活用することができる。	⑫ 検査結果の解釈と評価において適切に臨床検査を活用することができる。
基礎科目	人間と生活・社会の理解	心理学※	医	1	○	○	○									
		久留米・筑後体験演習※	医	1	○	○	○									
		スポーツカルチャーを創創する。※	医	1	○	○	○									
		観光英語※	医	1	○	○	○									
		文学※	医	1	○	○	○									
		歴史学※	医	1	○	○	○									
		社会学※	医	1	○	○	○									
		法学※	医	1	○	○	○									
		健康・スポーツ科学概論※	医	1	○	○	○									
		文化人類学※	医	1	○	○	○									
		哲学※	医	1	○	○	○									
		人文地理学※	医	1	○	○	○									
		いのちの倫理※	医	1	○	○	○									
		経済学概論※	医	1	○	○	○									
		社会学※	医	1	○	○	○									
英語TOEFL※	医	1	○	○	○											
英語(リーディング)	医	1	○	○	○											
スポーツ・健康科学(実技)	医	1	○	○	○											
キャリア入門	医	1	○	○	○											
専門基礎科目	科学的思考の基礎	基礎医学ディベート※	医	1	○	○	○									
		論理学※	医	1	○	○	○									
		数学※	医	1	○	○	○									
		文献調査法※	医	1	○	○	○									
		学びの基本 I	医	1	○	○	○									
		学びの基本 II	医	1	○	○	○									
		生命科学・検査原理の基礎	化学	医	1	○	○	○								
			物理学	医	1	○	○	○								
			生物学	医	1	○	○	○								
			細菌学	医	1	○	○	○								
			検査機器概論	医	1	○	○	○								
			医用工学概論	医	1	○	○	○								
			医用工学概論実習	医	2	○	○	○								
			バイオサイエンス基礎	全	2	○	○	○								
			人体の構造と機能	肉眼解剖学	医	1	○	○	○							
組織解剖学	医			1	○	○	○									
生理学	医			1	○	○	○									
生化学	医			1	○	○	○									
免疫学	医			1	○	○	○									
肉眼解剖学実習	医			2	○	○	○									
保健医療福祉と丁寧な取扱	公衆衛生学 I			医	1	○	○	○								
	公衆衛生学 II	医		2	○	○	○									
	関係法規	全		3	○	○	○									
	マネジメントサイエンス基礎 I	全		1	○	○	○									
	マネジメントサイエンス基礎 II	全		2	○	○	○									
	保健医療情報学	全		2	○	○	○									
	統計学	全		1	○	○	○									
	データサイエンス基礎 I	全		2	○	○	○									
	データサイエンス基礎 II	全		3	○	○	○									
	病態・病理と疾病	病理学 I	医	1	○	○	○									
		病理学 II	医	2	○	○	○									
		病態生理学 I	医	1	○	○	○									
		病態生理学 II	医	2	○	○	○									
		血液学	医	2	○	○	○									
		臨床医学総論 I	医	2	○	○	○									
臨床医学総論 II		医	3	○	○	○										
生理検査学 II		医	3	○	○	○										
臨床栄養学		医	3	○	○	○										
腫瘍医学		医	3	○	○	○										
臨床病理検討会		医	3	○	○	○										
薬理学		医	3	○	○	○										
臨床検査学の基本		臨床検査学・ヘルスサイエンス入門	医	1	○	○	○									
		医学英語	医	2	○	○	○									
		血液検査学	医	2	○	○	○									
	血液検査学実習	医	2	○	○	○										
	病理検査学	医	2	○	○	○										
	病理検査学実習	医	2	○	○	○										
	一般検査学	医	3	○	○	○										
	一般検査学実習	医	3	○	○	○										
	臨床化学検査学 I	医	1	○	○	○										
	臨床化学検査学 II	医	2	○	○	○										
	臨床化学検査学実習	医	2	○	○	○										
	免疫学実習	医	1	○	○	○										
	免疫検査学	医	3	○	○	○										
	同位体検査学	医	3	○	○	○										
	チーム医療に向けて	遺伝子・染色体検査学	医	2	○	○	○									
遺伝子・染色体検査学実習		医	2	○	○	○										
輸血・移植検査学		医	3	○	○	○										
輸血・移植検査学実習		医	3	○	○	○										
微生物検査学実習 I		医	1	○	○	○										
微生物検査学		医	2	○	○	○										
微生物検査学実習 II		医	2	○	○	○										
生理検査学 I		医	2	○	○	○										
生理検査学実習		医	2	○	○	○										
画像検査学 I		医	2	○	○	○										
画像検査学 II		医	3	○	○	○										
検査管理総論		医	3	○	○	○										
医療安全管理学		医	3	○	○	○										
医療安全・検体採取実習		医	3	○	○	○										
薬品管理学		医	1	○	○	○										
ゲノム医療・先端医学	医	3	○	○	○											
チーム医療演習	医	4	○	○	○											
臨床実習前技能修得到達度評価	医	4	○	○	○											
臨床実習	医	4	○	○	○											
臨床検査医学特論	医	4	○	○	○											
応用選択	応用選択コース入門	全	2	○	○	○										
	バイオサイエンス応用※	全	3	○	○	○										
	データサイエンス応用※	全	3	○	○	○										
	マネジメントサイエンス応用 I ※	全	3	○	○	○										
	マネジメントサイエンス応用 II ※	全	3	○	○	○										
	マネジメントサイエンス応用 III ※	全	3	○	○	○										
	臨床検査医学応用※	医	3	○	○	○										
	卒業研究	全	4	○	○	○										

バイオサイエンスに含まれる科目

データサイエンスに含まれる科目

マネジメントサイエンスに含まれる科目

資料3 日本臨床検査学教育協議会平成30年度臨時総会 調査研究委員会「平成29年度 進路状況調査および平成30年度入学状況調査」に関する報告

1. 書類の題名

日本臨床検査学教育協議会平成30年度臨時総会 調査研究委員会「平成29年度進路状況調査および平成30年度入学状況調査」に関する報告  
(設置の趣旨等を記載した書類【資料3】4～11ページ)

2. 出典

一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会 平成30年度臨時総会資料

3. 引用範囲

臨時総会次第及び調査研究委員会「平成29年度進路状況調査および平成30年度入学状況調査」に関する報告(18～23ページ)

4. その他の説明

本報告で示された正会員校へのアンケート調査結果から、「設置の趣旨等を記載した書類」の本文(11ページ)と【資料3】においてその概要を引用することにより、受験生の臨床検査技師養成校への進学に対する意識、及び卒業後の進路の全国的な動向について説明した。

文部科学大臣 永岡 桂子 殿

## 要 望 書

学校法人久留米大学が計画されております医学部医療検査学科の新設について、是非ともご認可いただきますよう、ここにお願い申し上げます。

久留米市は、九州一の大河筑後川や東西に連なる耳納連山に象徴される豊かな自然に恵まれたまちです。この「水と緑」に育まれた筑後平野の肥沃な大地では、多種多様な農産物が生産され、また、古くから交通の要衝であることから、農業・工業・商業などあらゆる分野の産業はもとより、医療機関や高等教育・学術研究機関が集積するなど、佐賀県東部を含む福岡県南地域の中核都市として着実に発展してまいりました。

本市では、この恵まれた地域資源を背景に、久留米市新総合計画第4次基本計画において「学術研究都市づくりの推進」を、第2期久留米市地方創生総合戦略においても、「大学等の姿がみえるまちづくり」を、重要施策と位置づけ、大学等と地域の連携による地域課題の解決や地元企業との産学連携による産業振興、地域の将来を担う人材の育成、学生の確保、卒業生の地元への就職推進などを進めていくこととしております。

久留米大学には、これまでも様々なかたちで地域の発展に先導的かつ重要な役割を果たして頂いており、久留米大学病院、そして関連医療施設には福岡県南、隣接する県を中心に広範な地域医療を担っていただくとともに、新型コロナウイルス感染症への対応等においても大変ご尽力を頂いております。

このような中で、臨床検査の分野は多彩な専門性を有した医療従事者が協働する現場へと進化しており、臨床検査技師についても最先端の医学知識と高度な検査技術を教育する必要性が高まっております。このような背景の下、医学部における専門性の高い医学教育やチーム医療教育、文医融合プログラム等からなる4年制の「医療検査学科」を医学部内へ設置することで、これから変わりゆく保健医療福祉の担い手となる、あるいは発展に寄与する人材を養成される計画とされております。

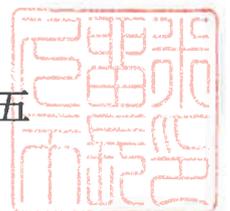
このことは、本市が取り組む「安心・安全のまち」「活力のあるまち」「生き生き生活できる、活躍できる共生のまち」の3つのまちづくりにとって、強力な推進力になると同時に、近隣自治体に波及することが期待されるものであります。

新学科の設置に向けては、久留米市といたしましても、可能な限りの協力と配慮をさせて頂く所存でございます。

こうした状況をご勘案のうえ、何とぞ久留米大学医学部に「医療検査学科」の設置をご認可くださいますよう、切にお願い申し上げます。

令和 5年 2月10日

久留米市長 原口 新五



令和5年1月11日

学校法人 久留米大学  
理事長 永田 見生 殿  
学 長 内村 直尚 殿

一般社団法人 福岡県臨床衛生検査技師会  
会長 外山 洋子



拝啓

時下、貴校におかれましてはますますご発展の事とお慶び申し上げます。

平素は、医療技術者の教育にご尽力され、さらにこの度は医療の高度化、専門化、タスクシフト/シェアによる業務拡大に対応するため、久留米大学医学部附属臨床検査専門学校の改組により、久留米大学に医学部医療検査学科として新設される準備に精励されておられる事について、心から感謝申し上げるとともに高く評価しております。

近年、大学学士課程を卒業した臨床検査技師が多くを占めております。今後は、医療の現場における様々な職種の専門性を考慮した教育の導入が必要であり、チーム医療に欠かせない知識・技術・寛容性を身につけた人材を大学教育のレベルから養成し、医療現場へ送り出して頂きたいと考えております。

医療が高度化する中で、臨床検査技師養成機関の大学化の流れは、今や当然となりつつあります。貴学校法人での医療検査学科の設置はまさに時代の流れに沿っているものと考えます。是非医療検査学科の新設を推進して頂くよう、下記の通り学科設立に関する要望事項を示して、ここにお願い申し上げます。

敬具

記

#### 学科設立に関する要望事項

1. 本会は「臨床検査技師の養成は臨床検査技師の手で」なされるべきと考えております。  
貴学校法人におかれましても、是非とも臨床検査技師の資格を持つ教員を主体として頂きたいこと。又、病院等の臨地実習についても充実して頂きたいこと。
2. 臨床検査技師業務は、最先端技術の応用分野であります。今後の進歩発展はますます急速に進むことが予想されます。又、一方では国民の医療に対する認識の変化や国際化に対応し、保健医療の各分野で指導的な役割を果たすことの出来る臨床検査技師の育成が重要です。  
4年制学部のみならず、大学院増設も視野に入れて頂きたいこと。
3. 現在進めている医学部医療検査学科の設立を、福岡県臨床衛生検査技師会としても期待しておりますので、上記のことを含めて速やかに進めて頂きたいこと。

以上

久留米大学 学長 内村 直尚 殿

新学科「医学部医療検査学科」の設置に関する意見書

福岡県では、平成 29 年 3 月に医療計画の一部として福岡県地域医療構想を策定しました。地域医療構想の達成に向けて、地域ごとに異なる人口構造の変化、すなわち医療需要の将来の変化に対して、地域の実情に応じて、それに見合った医療資源の効果的かつ効率的な配置を促し、より良質な医療サービスを受けられる体制構築に向けて議論が進められております。

貴大学がある久留米医療圏の人口及び高齢者の推移では、総人口は減少を続け、75 歳以上の後期高齢者人口は 2030 年をピークに減少に転じるものの、総人口に占める割合は 2040 年まで増加を続けると予想されています。慢性疾患を有する高齢者の増加や生産年齢人口の減少が加速していく 2040 年頃までを視野に入れて「治す医療」を担う医療機関と「治し、支える医療」を担う医療機関の役割分担を明確化するとともに、在宅を中心に入退院を繰り返し、最後は看取りを要する高齢者を支えるため、かかりつけ医機能を有する医療機関を中心とした患者に身近な地域での「地域完結型」の医療・介護提供体制を構築する必要があります。

一方、令和 2 年 3 月に策定された福岡県医師確保計画における医師偏在指標（医師全体）では、久留米医療圏は県内で最も大きな値となっており、全国でも 3 位となっています。引き続き、医師の定着を通じた医師確保に取り組んでおりますが、臨床検査技師もまた、各医療圏に確保すべき重要な人的資源であります。

貴大学におかれましては、昭和 43 年に久留米大学医学部附属衛生検査技師学校として創設されて以来 50 年もの長きにわたり、3 年間の在校期間内に臨床の現場で医療チームの一員として活躍できる臨床検査技師を育成されてこられました。しかし、近年、臨床検査技師の業務は飛躍的に拡大し、医師の働き方改革を受けたタスク・シフト/シェアの推進の結果、より高度な医療安全の知識と技術を必要とする業務も担うことが求められております。また、チーム医療の推進による多職種連携が必要不可欠となる中、患者の生活の質（QOL）の維持・向上を目的に臨床検査技師には検査データなどの解析と管理、データに伴う助言を求められ、これまで以上に医療に関する知識と技術の修得が必要になると考えております。

上記背景などから、貴大学が「医療チームの一員として患者と家族、地域や社会に貢献できる臨床検査技師」の育成を掲げ、医学部における質の高い専門教育や医学科・看護学科とのチーム医療教育、全学的文医融合プログラム等からなる新学科「医学部医療検査学科」を設置することは、地域医療に大きく寄与するものでありますので、福岡県医師会として賛同いたします。

令和 5 年 2 月 16 日

公益社団法人福岡県医師会  
会長 蓮澤 浩明



久留米大学

学 長 内 村 直 尚 様

### 新学科「医学部医療検査学科」の設置に関する意見書

本県は「人口当たりの病院数」が全国3位であり、一般診療所病床数、病院病床数も全国平均を大きく上回っています。中核病院・基幹病院が県内に分散立地しており、患者からのアクセスが良いなど充実した医療体制にあります。本県においては、総人口の減少や高齢者数の増加など人口構造、疾病構造等が変化しているほか、団塊の世代がすべて後期高齢者となる2025年や、後期高齢者の数がピークを迎える2035年を見据えた新しい医療体制の構築が求められており、効率的かつ質の高い医療提供体制の構築、さらに介護分野についても、各市町において、在宅医療・介護連携推進事業の実施をはじめ、地域包括ケアシステムの推進を進めているところであります。

本県では2020年より第7次佐賀県保健医療計画の一部として医師確保計画を定め、診療科間の偏在是正と医師少数区域における医師偏在指標の改善に取り組んでおります。臨床検査技師もまた、各医療圏に確保すべき重要な人的資源であると考えています。特に、医師の時間外労働の上限規制が2024年4月から適用されることから、臨床検査技師にはこれまで以上に保健医療分野において、その専門性を活かした幅広い役割を担うことが期待されています。

本県の中でも東部医療圏は、長年にわたり隣接する福岡県久留米医療圏との連携が強く、両圏の地域医療は相互補完関係を築いてまいりました。この度、近隣に位置する久留米大学にて、臨床検査技師を養成する医療検査学科の設置準備が進められていることに大いに期待しております。

昨今の臨床検査技師は、タスクシフト・シェアによる業務拡大へはもちろん、医療の高度化・専門化、超高齢化社会などに対応できる知識や技術、行動力を備えることが求められます。久留米大学は医学部、大学病院と医学・医療の研究機関を備えるとともに文系学部を擁し、多様な学問領域において人材を育成しておられます。これまで専門学校として臨床検査技師を養成してこられた経験も活かして、医学部医療検査学科でより充実した医学教育を施し、これからの社会のニーズに応えることのできる臨床検査技師を育成されることは、佐賀県の保健医療福祉の維持、向上にも寄与するものであることから「医学部医療検査学科」の設置に賛同いたします。

令和5年3月10日

佐賀県知事  
山口祥義



文部科学大臣 永岡 桂子 殿

## 要 望 書

学校法人久留米大学が実現しようとしている、臨床検査技師養成を目的とした新学科「医学部医療検査学科」の設置について、是非とも認可いただきたくお願い申し上げます。

現在、臨床検査分野における臨床検査技師の職務は、品質保証に基づいた検査を行うだけでなく、多くの職種とのチーム医療はもちろんのこと、高度化・専門化する医学・医療の進歩に柔軟かつ迅速に対応する技量を求められています。

さらには法改正により、検体採取をはじめ医師の働き方改革に伴うタスクシフト・シェアの推進、新型コロナウイルスワクチン接種など、臨床検査技師が実施できる業務の範囲が拡大されており、今後更なる専門性と幅広い視点を持った人材の育成が望まれます。

佐賀県には、臨床検査技師養成施設がありません。佐賀県出身者は現在の久留米大学医学部附属臨床検査専門学校をはじめとした他県の養成施設で資格を取得し、佐賀の地に戻り保健医療福祉の現場を支えています。

このような背景の下、久留米大学では、医学の進歩や時代のニーズに対応するための専門性の高い医学教育やチーム医療教育、文医融合プログラム等からなる4年制の新学科設置を構想しており、久留米大学の特色を活かした教育により現場で求められる臨床検査技師を育成することは、近隣の地域社会、佐賀県の保健医療福祉に大きく貢献するものであると期待しています。

つきましては、こうした状況をご勘案の上、何卒久留米大学に「医学部医療検査学科」の設置をご認可くださいますよう、強く要望申し上げます。

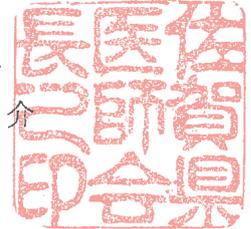
令和5年2月10日

一般社団法人佐賀県臨床検査技師会  
会長 平野 敬之



久留米大学  
学長 内村直尚 殿

佐賀県医師会長  
松永啓介



新学科「医学部医療検査学科」の設置に関する意見書

佐賀県は「人口当たりの病院数」が全国3位であり、一般診療所病床数、病院病床数も全国平均を大きく上回っています。また、中核病院・基幹病院が県内に分散立地しており、患者のアクセスが良いことなど、充実した医療体制が構築されているものの、総人口の減少や高齢者数の増加など、人口構造、疾病構造等が変化しているほか、団塊の世代がすべて後期高齢者となる2025年や、後期高齢者の数がピークを迎える2035年を見据えた新しい医療体制の構築が求められており、効率的かつ質の高い医療提供体制の構築、さらに介護分野についても、各市町において、在宅医療・介護連携推進事業の実施をはじめ、地域包括ケアシステムの構築が進められているところです。加えて、2020年より第7次保健医療計画の一部として医師確保計画を定め、診療科間の偏在是正と医師少数区域における医師偏在指標の改善に取り組んでいますが、そのような中、臨床検査技師も各医療圏に確保すべき重要な人的資源であると考えています。

貴学におかれましては、昭和43年に久留米大学医学部附属衛生検査技師学校として創設されて以来50年もの長きにわたり、3年間の在校期間内に臨床の現場で医療チームの一員として活躍できる臨床検査技師を育成されてこられました。しかし、近年、臨床検査技師の業務は飛躍的に拡大し、医師の働き方改革を受けたタスク・シフト/シェアの推進の結果、より高度な医療安全の知識と技術を必要とする業務も担うことが求められています。また、チーム医療の推進による多職種連携が必要不可欠となる中、患者の生活の質(QOL)の維持・向上を目的に、臨床検査技師には検査データなどの解析と管理、データに伴う助言を求められ、これまで以上に医療に関する知識と技術の修得が必要になると考えています。

つきましては、貴学が「医療チームの一員として患者と家族、地域や社会に貢献できる臨床検査技師」の育成を掲げ、医学部における質の高い専門教育や医学科・看護学科とのチーム医療教育、全学的文医融合プログラム等からなる新学科「医学部医療検査学科」を設置することは、地域医療に大きく寄与するものであることから、佐賀県医師会として賛同いたします。

文部科学大臣 永岡 桂子 殿

## 要 望 書

学校法人久留米大学が計画されております医学部医療検査学科の新設について、是非ともご認可いただけますよう、ここにお願い申し上げます。

福岡県・久留米市は、バイオ関連産業を育成するため県南部の久留米地域を中心にバイオベンチャー・企業・研究機関などバイオ関連産業の拠点化を目指しており、2021年には内閣府より「福岡バイオコミュニティ」の認定を受けました。弊社（株久留米リサーチ・パーク）は、当コミュニティの推進機関である「福岡バイオコミュニティ推進会議」の事務局として地域産業の振興に努めてまいりました。また久留米大学様には、当該推進会議の副会長に永田見生理事長に就任いただいた他、創薬企業に対する開発アドバイスをや前臨床試験の実施など、大学の地域貢献としてバイオ産業振興にご尽力いただいております。

この度、久留米大学が医学部に医療検査学科を新設し、地域医療に貢献する臨床検査技師の養成の他、時代のニーズに合った最先端の医療技術を学ぶヘルスバイオサイエンス人材や、データサイエンスの基礎的な知識を学ぶヘルスデータサイエンス人材の養成を目指します。

人材育成は、地域の産業振興においても重要な課題であり、この度の医療検査学科の設置により、地域医療に大きく貢献するだけでなく、専門人材不足に悩む創薬やスマートセル、機能性表示食品開発に関わる企業が必要とする人材を提供することが可能となり、企業の発展が大いに期待されます。学術的裏付けを持った専門人材の育成は、福岡バイオコミュニティにとって長年の懸案であり、地域産業振興の強力な推進力と人材のエコシステムになると大いに期待するものであります。

新学科の設置に向けては、(株)久留米リサーチ・パークといたしましても、可能な限りの協力と配慮をさせて頂く所存です。

こうした状況をご懸案の上、なにとぞ久留米大学医学部に医療検査学科の設置をご認可くださいますよう、切にお願い申し上げます。

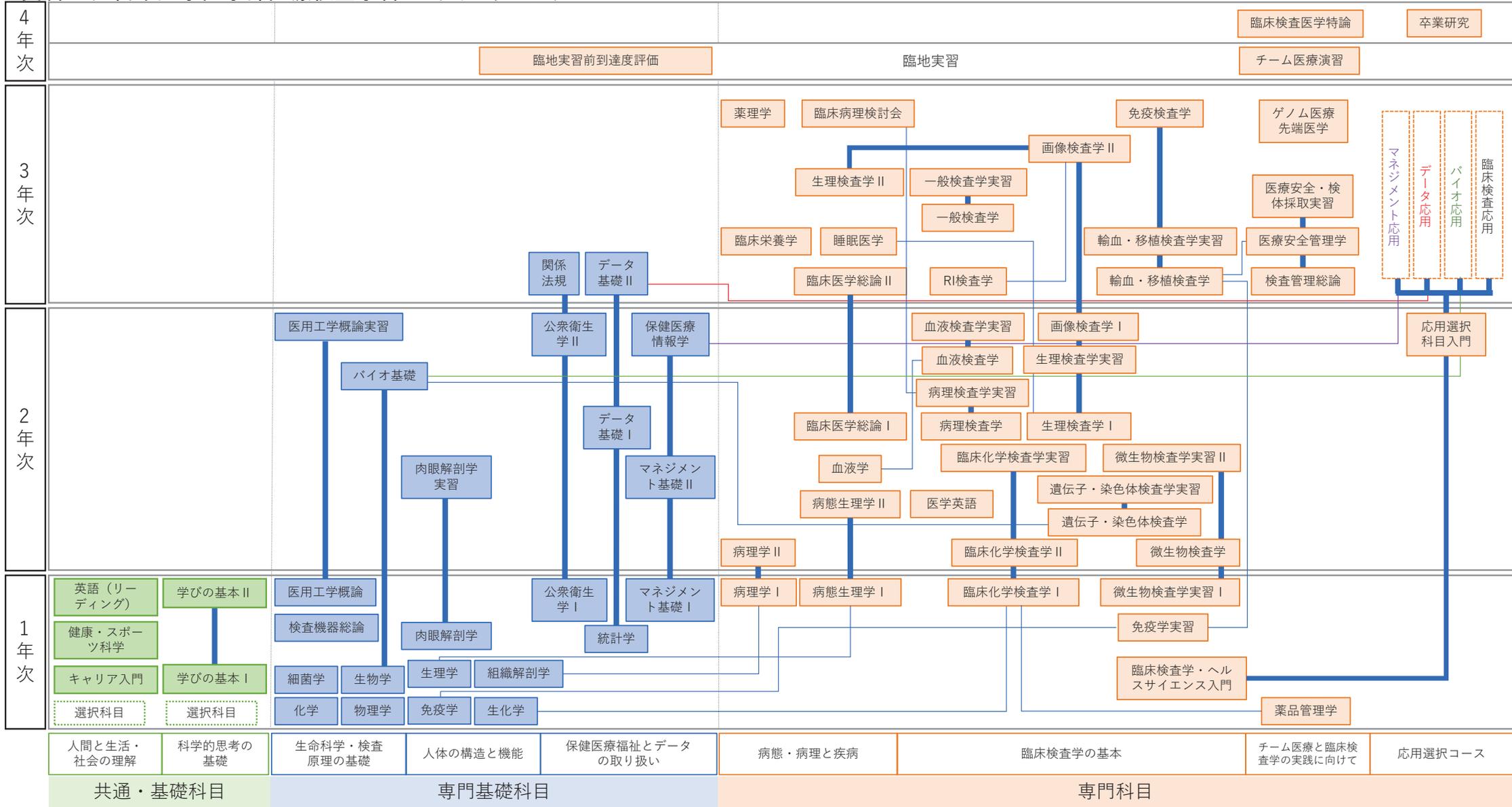
令和5年2月27日

株式会社久留米リサーチ・パーク  
代表取締役社長 田中 達也



資料5 久留米大学医学部医療検査学科 カリキュラムツリー

医療検査学士 学位授与



履修年次		1年次				2年次				3年次				4年次			
期		前期	場所	後期	場所	前期	場所	後期	場所	前期	場所	後期	場所	前期	場所	後期	場所
曜日	時期	科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名	
月	1	化学		臨床検査入門		医学英語		保健医療学Ⅰ/臨床医学総論Ⅰ		睡眠医学		臨床病理討論会		臨床実習			
	2	細菌学		細菌学		生体検査学Ⅰ		保健情報管理学	基礎3PC室	医療安全管理学		一般検査学					
	3	物理学		教養選択		遺伝子・染色体検査学		医用工学概論実習	生化学実習室	医療安全・検体採取実習	生体実習室	輸血・移植検査学				臨床医学特論	
	4	英語/健康スポーツ				画像検査学Ⅰ		医用工学概論実習	生化学実習室	医療安全・検体採取実習	生体実習室	ゲノム医療・先端医学				臨床医学特論	
	5			英語/健康スポーツ		臨床化学検査学Ⅱ		応用選択科目入門									
火	1	協同学習		統計学	基礎3PC室	病原生物学/臨床医学総論Ⅰ		基礎医学/マナジメン/基礎Ⅰ		生体検査学Ⅱ		医療安全・検体採取実習	生体実習室	卒業研究	研究室	卒業研究	研究室
	2	生物学		公衆衛生Ⅰ		マネジメント基礎Ⅱ		微生物検査学		臨床栄養学		医療安全・検体採取実習	生体実習室	卒業研究	研究室	卒業研究	研究室
	3	生体学		教養選択		生体検査学実習/臨床化学検査学実習	生体検査実習室/生化学実習室	生体検査学実習	生体実習室	応用選択	研究室	応用選択	研究室				
	4					生体検査学実習/臨床化学検査学実習	生体検査実習室/生化学実習室	生体検査学実習	生体実習室	応用選択	研究室	応用選択	研究室				
	5			病理生理学Ⅰ		画像検査学Ⅰ		生体検査学Ⅰ	生体実習室								
水	1	生化学		病理学Ⅰ		病理学Ⅱ		血液検査学		一般検査学実習	基礎1実習室	薬理学		チーム医療演習	協同学習室		
	2	薬品管理学	生化学実習室	臨床化学検査学Ⅰ		微生物検査学		病理検査学		一般検査学実習	基礎1実習室	免疫検査学	生化学実習室	チーム医療演習	協同学習室		
	3	肉眼解剖学		マネジメント基礎Ⅰ		肉眼解剖学実習	基礎1解剖学実習室	臨床化学検査学実習	生化学実習室	R検査学	生化学実習室	画像検査学Ⅱ					
	4			生体学		肉眼解剖学実習	基礎1解剖学実習室	臨床化学検査学実習	生化学実習室	R検査学	生化学実習室						
	5			生化学				公衆衛生学Ⅱ		輸血・移植検査学							
木	1			検査機器総論	生化学実習室	病理検査学/病理検査学実習	基礎1実習室	病理検査学実習/肉眼解剖学実習	基礎1実習室/解剖学実習室	検査管理総論		生体検査学Ⅱ					
	2	検査機器総論	生化学実習室	医用工学概論		病理検査学実習	基礎1実習室	病理検査学実習/肉眼解剖学実習	基礎1実習室/解剖学実習室	一般検査学							
	3	組織解剖学	基礎1組織実習室	微生物検査学実習Ⅰ	基礎1実習室	微生物検査学実習Ⅱ	基礎1実習室	血液検査学実習	生化学実習室	輸血・移植検査学実習	生化学実習室						
	4	組織解剖学	基礎1組織実習室	微生物検査学実習Ⅰ	基礎1実習室	微生物検査学実習Ⅱ	基礎1実習室	血液検査学実習	生化学実習室	輸血・移植検査学実習	生化学実習室						
	5																
金	1	教養選択		教養選択		血液学		バイオサイエンス基礎		データサイエンス基礎Ⅱ	基礎3PC室	一般検査学実習	生化学実習室				
	2	学びの基礎Ⅰ		学びの基礎Ⅱ		データサイエンス基礎Ⅰ	基礎3PC室	データサイエンス基礎Ⅱ	基礎3PC室	臨床医学総論Ⅱ		一般検査学実習	生化学実習室				
	3	キャリア入門		免疫学		遺伝子・染色体検査学実習	生化学実習室	微生物検査学実習Ⅱ	基礎1実習室	関係法規							
	4			免疫学実習	生化学実習室	遺伝子・染色体検査学実習	生化学実習室	微生物検査学実習Ⅱ	基礎1実習室	ゲノム医療・先端医学							
	5			免疫学実習	生化学実習室												

資料7 教育課程と『臨床検査技師等に関する法律施行令第18条第四号に基づき厚生労働大臣が定める検体検査、生理学的検査、採血及び検体採取に関する科目』との対比表

教育課程と『臨床検査技師等に関する法律施行令第18条第四号に基づき厚生労働大臣が定める検体検査、生理学的検査、採血及び検体採取に関する科目』との対比表

(久留米大学医学部医療検査学科)

※『厚生労働大臣による指定科目の教科内容対比表』に従い本教育課程の必修科目を分類

指定科目		各科目の単位数													計											
		病態学		公衆衛生学	医用工学概論	血液検査学	病理検査学	尿・糞便一般検査学	生化学検査学(免疫検査学を含む)	遺伝子関連・染色体検査学	輸血・移植検査学	微生物検査学	生理検査学	臨床検査総合管理理学		医療安全管理理学	臨床実習									
		人体の構造と機能	左2項目に含まれない科目																							
区分	授業科目	講義	実習	講義	実習	1単位の時間数	必須単位数(A)	8	5	合計20	4	4	4	5	3	6	2	4	6	10	6	2	12	88		
専門基礎科目	肉眼解剖学	1	24		24			1																		
	組織解剖学		2	60	30			2																		
	生理学	2	56		28			2																		
	生化学	2	60		30			2																		
	免疫学	1	16		16										1											
	肉眼解剖学実習		1	30	30			1																		
	細菌学	2	40		20				2																	
	公衆衛生学Ⅰ	1	24		24				1																	
	公衆衛生学Ⅱ	2	30		15				2																	
	関係法規	1	16		16				1																	
	マネジメントサイエンス基礎Ⅰ	1	18		18				1																	
	マネジメントサイエンス基礎Ⅱ	1	30		30				0.3	0.2													0.5			
	保健医療情報学	1	16		16						1															
	統計学	2	30		15																			2		
	検査機器総論	1	24		24						1															
	医用工学概論	2	30		15						2															
	医用工学概論実習		1	30	30						1															
バイオサイエンス基礎	2	30		15																						
小計								8	2	0	5.3	5.2	0	0	0	1	0.3	0	0	0	2.5	0	0	24.3		
専門科目	薬理学	1	16		16			1																		
	病理学Ⅰ	1	16		16				1																	
	病理学Ⅱ	1	26		26				1																	
	臨床栄養学	1	20		20				1																	
	病態生理学Ⅰ	1	20		20					1																
	病態生理学Ⅱ	1	28		28					1																
	血液学	2	30		15					1.2		0.8														
	臨床医学総論Ⅰ	2	30		15					1.7					0.1					0.1		0.1				
	臨床医学総論Ⅱ	2	32		16					2																
	睡眠医学	1	16		16					1																
	血液検査学	2	30		15						2															
	血液検査学実習		2	60	30						2															
	病理検査学	2	30		15							2														
	病理検査学実習		2	60	30							2														
	臨床病理検討会	1	16		16							1														
	一般検査学	2	48		24							2														
	一般検査学実習		2	60	30							2														
	臨床化学検査学Ⅰ	2	30		15								2													
	臨床化学検査学Ⅱ	2	30		15								2													
	臨床化学検査学実習		2	60	30								2													
	免疫検査学	1	20		20								1													
	RI検査学		1	30	30									1												
	遺伝子・染色体検査学	1	20		20					0.2		0.1				0.7										
	遺伝子・染色体検査学実習		1	30	30											1										
	ゲノム医療・先端医学	1	22		22											0.6										
	免疫学実習		1	30	30														1							
	輸血・移植検査学	2	30		15														1.9					0.1		
	輸血・移植検査学実習		1	30	30														1							
	微生物検査学実習Ⅰ		1	30	30															1						
	微生物検査学	3	46		15																2.9			0.1		
	微生物検査学実習Ⅱ		2	60	30																2					
	生理検査学Ⅰ	3	46		15																	2.9		0.1		
	生理検査学実習		2	60	30																	1.9				
	生理検査学Ⅱ	2	34		17						0.1											1.2				
	画像検査学Ⅰ	2	30		15						0.8											1.9		0.1		
	画像検査学Ⅱ	1	20		20																	1				
	薬品管理理学	1	20		20							0.4											0.6			
検査管理総論	2	30		15																	2					
医療安全管理理学	1	18		18																			1			
医療安全・検体採取実習		1	36	36																			1			
チーム医療演習	1	16		16																		0.8	0.2			
臨床実習前技能修得到達度評価		2	60	30																				2		
臨床実習(生理学的検査3単位を含む)		11	450	41																				11		
臨床検査医学特論	4		120	30																						
小計								1	3	9.3	0.9	0.5	5.3	5.2	4.1	8.5	2.3	4.1	6.1	10	3.6	2.7	13	79.6		
専門基礎科目と専門科目の合計単位数(B)								9	5	9.3	6.2	5.7	5.3	5.2	4.1	9.5	2.6	4.1	6.1	10	6.1	2.7	13	103.9		
各指定科目の必須単位数(A)に対する(B)の増単位数								(1)	(0)	※3.3	2.2	1.7	1.3	0.2	1.1	3.5	0.6	0.1	0.1	0	0.1	0.7	1	15.9		

※病態学合計の必須20単位との比較 (9 + 5 + 9.3 = 23.3)

資料8 診療情報管理士養成科目(日本病院会)として登録予定の教育課程の科目

診療情報管理士養成科目(日本病院会)として登録予定の教育課程の科目

(久留米大学医学部医療検査学科)

指定科目 教育課程				基礎科目													専門科目										計		
				医療概論	人体構造・機能論	臨床医学総論(外傷学・先天異常を含む)	臨床医学Ⅰ(感染症)	臨床医学Ⅱ(新生物)	臨床医学Ⅲ(血液・代謝)	臨床医学Ⅳ(精神・脳)	臨床医学Ⅴ(循環器・呼吸器)	臨床医学Ⅵ(消化器・泌尿器)	臨床医学Ⅶ(周産期)	臨床医学Ⅷ(皮膚・筋骨格)	医学・医療用語	医療管理総論	医療管理各論Ⅰ(病院管理)	医療管理各論Ⅱ(医療保険・介護保険制度)	医療管理各論Ⅲ(医療安全・医療の質管理)	保健医療情報学	医療統計Ⅰ(統計理論)	医療統計Ⅱ(病院統計・疾病統計)	診療情報管理Ⅰ(法令・諸規則)	診療情報管理Ⅱ(診療情報管理士の実務)	診療情報管理Ⅲ(DPC/がん登録の実務)	国際統計分類Ⅰ		国際統計分類Ⅱ	病院実習
区分	授業科目	必修科目	選択科目	必須の実時間	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	40	400	
専門基礎科目	生理学	<input type="radio"/>																											
	公衆衛生学Ⅱ	<input type="radio"/>																											
	関係法規	<input type="radio"/>																											
	マネジメントサイエンス基礎Ⅰ	<input type="radio"/>																											
	マネジメントサイエンス基礎Ⅱ	<input type="radio"/>																											
	保健医療情報学	<input type="radio"/>																											
	統計学	<input type="radio"/>																											
データサイエンス基礎Ⅰ	<input type="radio"/>																												
専門科目	臨床検査学・ヘルスサイエンス入門	<input type="radio"/>																											
	医学英語	<input type="radio"/>																											
	病理学Ⅰ	<input type="radio"/>																											
	病理学Ⅱ	<input type="radio"/>																											
	臨床栄養学	<input type="radio"/>																											
	病態生理学Ⅰ	<input type="radio"/>																											
	病態生理学Ⅱ	<input type="radio"/>																											
	臨床医学総論Ⅰ	<input type="radio"/>																											
	臨床医学総論Ⅱ	<input type="radio"/>																											
	臨床化学検査学Ⅱ	<input type="radio"/>																											
	免疫検査学	<input type="radio"/>																											
	遺伝子・染色体検査学	<input type="radio"/>																											
	病理検査学	<input type="radio"/>																											
	微生物検査学	<input type="radio"/>																											
	生理検査学Ⅱ	<input type="radio"/>																											
	画像検査学Ⅰ	<input type="radio"/>																											
	検査管理総論	<input type="radio"/>																											
医療安全管理学	<input type="radio"/>																												
マネジメントサイエンス応用Ⅰ																													
マネジメントサイエンス応用Ⅱ																													

※本表での授業時間は、日本病院会の審査基準にあわせて実時間で表示している。

※3年次にマネジメントサイエンス応用コースを選択した学生のみが●で表示される講義と病院実習をすべて履修し、診療情報管理士認定試験の受験資格を取得する。

※3年次の2月に資格認定試験を受験するには、3年次の9月には全指定教科を修得している必要がある。

※網掛けは選択科目

年次区分	リテラシー	1年次		2年次		3年次		4年次			
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基礎科目	人間と生活・社会の理解	英語（リーディング）	1	英語（リーディング）	1						
		スポーツ・健康科学	1	スポーツ・健康科学	1						
		心理学	1.5	文学	1.5						
		久留米・筑後体験演習	2	歴史学	1.5						
		スポーツカルチャーを解剖する	1.5	社会学	1.5						
		観光英語	1.5	法学	1.5						
		キャリア入門	1	健康・スポーツ科学概論	1.5						
				文化人類学	1.5						
				哲学	1.5						
				人文地理学	1.5						
専門基礎科目	科学の基礎的思考	基礎医学ディベート	1.5	論理学	1.5						
		学びの基本 I	2	数学	1.5						
				文献調査法	1.5						
				学びの基本 II	1						
				細菌学	2	内眼解剖学実習	1				
				検査機器総論	1	医用工学概論実習	1				
				化学	1	医用工学概論	2	バイオサイエンス基礎	2		
				物理学	1						
				生物学	1						
				生理学	2						
専門科目	病と疾・病理	人体機能構造	2								
		生化学	2								
		内眼解剖学	1								
		組織解剖学	2								
		免疫学	1								
		公衆衛生学 I	1	マネジメントサイエンス基礎 II	1	公衆衛生学 II	2	関係法規	1		
		マネジメントサイエンス基礎 I	1	データサイエンス基礎 I	2	保健医療情報学	1	データサイエンス基礎 II	1		
		統計学	2								
		病理学 I	1	病理学 II	1	臨床医学総論 II	2	臨床病理検討会	1		
		病態生理学 I	1	血液学	2	臨床栄養学	1	薬理学	1		
臨床検査学の基本				病態生理学 II	1	睡眠医学	1				
				臨床医学総論 I	2						
				臨床検査学・ヘルスサイエンス入	1	生理検査学 II	2				
				臨床化学検査学 I	2	一般検査学	2				
				免疫学実習	1	一般検査学実習	2				
				微生物検査学実習 I	1	Ri検査学	1	免疫検査学	1		
				医学英語	1	輸血・移植検査学	2	画像検査学 II	1		
				臨床化学検査学 II	2	輸血・移植検査学実習	1				
				血液検査学実習	2						
				遺伝子・染色体検査学	1	病理検査学	2				
学と臨床現場で実践的に学べる	薬品管理学			病理検査学実習	2						
				臨床化学検査学実習	2						
				微生物検査学	3						
				微生物検査学実習 II	2						
				生理検査学 I	3						
				生理検査学実習	2						
				画像検査学 I	2						
						検査管理総論	2	チーム医療演習	1	臨床検査医学特論	4
						医療安全管理学	1	臨床実習前技能修得到達度評価	2		
						医療安全・検体採取実習	1	臨床実習	11		
応用選択科目 I				ゲノム医療・先端医学	1						
				応用選択コース入門	1	マネジメントサイエンス応用 I	4	マネジメントサイエンス応用 III	2	卒業研究	2
						マネジメントサイエンス応用 II	1				
						バイオサイエンス応用	6				
						データサイエンス応用	6				
						臨床検査応用	6				
単位数		28科目 37単位		26科目 44単位		20科目 31単位(マネジメント応用選択者のみ32単位)		5科目 20単位			

単位 総計 132単位以上 (マネジメント応用選択者は133単位以上)

グループ	許容人数	5月		6月					7月				8月
		3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目	5週目	1週目	2週目	3週目	4週目	1週目
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		臨地実習(前半)						臨地実習(後半)					
1	2	地方独立行政法人福岡市立病院機構 福岡市立こども病院(※病理)						肺・心電図・脳波	病理	チーム医療	輸血	輸血	
2	2	社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院						病理	肺・心電図・脳波	チーム医療	輸血	輸血	
3	4	社会医療法人財団白十字会 白十字病院						病理	肺・心電図・脳波	輸血	輸血	チーム医療	
4	2	社会医療法人天神会 新古賀病院						肺・心電図・脳波	血液・一般	生化学・免疫	超音波・画像	超音波・画像	
5	3	独立行政法人 地域医療機能推進機構 (JCHO) 久留米総合病院						肺・心電図・脳波	血液・一般	生化学・免疫	超音波・画像	超音波・画像	
6	2	国立病院機構九州医療センター						血液・一般	肺・心電図・脳波	生化学・免疫	超音波・画像	超音波・画像	
7	2	久留米大学医療センター (※細菌)						細菌・遺伝子	輸血	チーム医療	超音波・画像	生化学・免疫	
8	2	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 大分県済生会日田病院						細菌・遺伝子	チーム医療	輸血	超音波・画像	生化学・免疫	
9	2	地方独立行政法人 筑後市立病院 (※細菌)						細菌・遺伝子	チーム医療	輸血	超音波・画像	生化学・免疫	
10	1	産業医科大学病院						輸血	チーム医療	生化学・免疫	超音波・画像	病理	
11	4	佐賀大学医学部附属病院						チーム医療	輸血	生化学・免疫	超音波・画像	病理	
12	2	医療法人徳洲会 福岡徳州会病院						輸血	チーム医療	生化学・免疫	超音波・画像	病理	
13	2	日本赤十字社 福岡赤十字病院						生化学・免疫	超音波・画像	血液・一般	肺・心電図・脳波	肺・心電図・脳波	
14	2	佐賀県医療センター 好生館						血液・一般	超音波・画像	生化学・免疫	肺・心電図・脳波	肺・心電図・脳波	
15	2	国立病院機構小倉医療センター						血液・一般	超音波・画像	生化学・免疫	肺・心電図・脳波	肺・心電図・脳波	
16	2	日本赤十字社 熊本赤十字病院						血液・一般	超音波・画像	生化学・免疫	生化学・免疫	生化学・免疫	
17	1	医療法人清和会 長田病院 (※細菌・病理)						生化学・免疫	超音波・画像	病理	細菌・遺伝子	細菌・遺伝子	
18	2	医療法人社団水光会 宗像水光会総合病院						生化学・免疫	超音波・画像	病理	細菌・遺伝子	細菌・遺伝子	
19	1	公立八女総合病院 (※細菌)						生化学・免疫	超音波・画像	病理	細菌・遺伝子	細菌・遺伝子	
20	1	一般社団法人朝倉医師会 朝倉医師会病院 (※細菌)						超音波・画像	生化学・免疫	細菌・遺伝子	血液・一般	血液・一般	
21	2	公立学校共済組合 九州中央病院						超音波・画像	生化学・免疫	細菌・遺伝子	血液・一般	血液・一般	
22	1	社会保険 田川病院						超音波・画像	生化学・免疫	細菌・遺伝子	血液・一般	血液・一般	
23	3	地方独立行政法人 大牟田市立病院 (※細菌)						超音波・画像	生化学・免疫	細菌・遺伝子	血液・一般	血液・一般	
24	2	社会福祉法人 北九州病院 北九州総合病院											
25	4	鹿児島大学病院											
26	2	輸血	チーム医療	肺・心電図・脳波	病理	社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院							
27	2	病理	肺・心電図・脳波	輸血	チーム医療	社会医療法人天神会 新古賀病院							
28	4	病理	肺・心電図・脳波	チーム医療	輸血	社会医療法人財団白十字会 白十字病院							
29	3	肺・心電図・脳波	血液・一般	超音波・画像	生化学・免疫	独立行政法人 地域医療機能推進機構 (JCHO) 久留米総合病院							
30	2	肺・心電図・脳波	血液・一般	生化学・免疫	超音波・画像	国立病院機構九州医療センター							
31	2	肺・心電図・脳波	血液・一般	生化学・免疫	超音波・画像	公立学校共済組合 九州中央病院							
32	3	細菌・遺伝子	輸血	チーム医療	超音波・画像	生化学・免疫	地方独立行政法人 大牟田市立病院 (※細菌)						
33	1	生化学・免疫	超音波・画像	チーム医療	輸血	細菌・遺伝子	社会保険 田川病院						
34	2	細菌・遺伝子	チーム医療	輸血	生化学・免疫	超音波・画像	地方独立行政法人 筑後市立病院 (※細菌)						
35	1	チーム医療	輸血	生化学・免疫	超音波・画像	病理	産業医科大学病院						
36	1	チーム医療	輸血	生化学・免疫	超音波・画像	病理	公益社団法人福岡医療団 千鳥橋病院						
37	2	血液・一般	生化学・免疫	超音波・画像	肺・心電図・脳波	医療法人徳洲会 福岡徳州会病院							
38	2	血液・一般	超音波・画像	生化学・免疫	肺・心電図・脳波	日本赤十字社 福岡赤十字病院							
39	2	血液・一般	超音波・画像	生化学・免疫	肺・心電図・脳波	国立病院機構小倉医療センター							
40	1	生化学・免疫	超音波・画像	病理	細菌・遺伝子	医療法人清和会 長田病院 (※細菌・病理)							
41	2	生化学・免疫	超音波・画像	病理	細菌・遺伝子	医療法人社団水光会 宗像水光会総合病院							
42	1	生化学・免疫	超音波・画像	病理	細菌・遺伝子	一般社団法人朝倉医師会 朝倉医師会病院 (※細菌)							
43	2	超音波・画像	生化学・免疫	細菌・遺伝子	血液・一般	久留米大学医療センター (※細菌)							
44	1	超音波・画像	生化学・免疫	細菌・遺伝子	血液・一般	公立八女総合病院 (※細菌)							
45	2	超音波・画像	生化学・免疫	細菌・遺伝子	血液・一般	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 大分県済生会日田病院							

※実習ができない部門

久留米大学病院		
実習内容	実習場所	
肺・心電図・脳波	臨床検査部A	総合診療棟2F
輸血	臨床検査部B	総合診療棟2F
血液・一般	臨床検査部B	総合診療棟2F
生化学・免疫	臨床検査部B	総合診療棟2F
細菌・遺伝子	細菌検査室	病院本館3F
病理	病理診断科・病理部	病院北館3F
超音波	超音波診断センター	総合診療棟3F
画像	画像診断センター	総合診療棟3F
チーム医療	感染制御部	病院本館2F
	医療安全管理室	病院本館2F
	栄養部	病院本館2F
	消化器病センター内視鏡室	病院本館3F
	質量分析医学応用研究施設	基礎3号館2F

## 資料11 臨地実習前技能修得到達度評価項目一覧

### 臨地実習前技能修得到達度評価項目一覧

No.	項目	内容
1	生理検査	患者の確認、検査説明が出来る。標準 12 誘導心電図検査で電極を正しく装着し、心電図を記録出来る。肺機能検査では検査の説明をし、スパイロメトリーの記録が出来る。
2	血液検査	血球計算盤を用いた目視法で、赤血球数、白血球数、血小板の計測が出来る。引きガラス法により血液薄層塗抹標本作製する。正常末梢血塗抹普通染色した標本で白血球 6 分画の分類・同定が出来る。
3	一般検査	試験紙法にて尿定性検査が出来る。尿沈渣標本作製後、眼幅・コンデンサ・視野絞り・開口絞り・光源量を調整し、顕微鏡で観察出来る。
4	病理検査	病理組織を用いて Hematoxylin-Eosin (HE) 染色し、封入して標本作製後、観察して臓器を同定出来る。細胞診検体を用いて Papanicolaou (Pap) 染色を実施し、観察して判定できる。
5	生化学検査	マイクロピペットを正しく操作し、規定量を採取出来る。分光光度計の操作ができる。採血管で遠心分離が必要なものに対して、適切に遠心分離機を操作し遠心分離が出来る。
6	微生物検査	手洗い、PPE の着脱が正しくできる。無菌操作により材料の画線塗抹を実施する。グラム染色の標本作製し、油浸で顕微鏡観察し Gram 陽性/陰性、球菌/桿菌の判別が出来る。
7	輸血検査	試験管法による ABO 血液型検査 (オモテ・ウラ検査) 及び RhD 血液型検査を実施し、正しく判定できる。不規則抗体スクリーニング検査が実施できる。
8	コミュニケーション	採血応対、待ち時間の長かった患者への対応、医師へ情報提供 (パニック値等) ができる。

No.	実施施設名		所在地		検査内容	受け入れ人数		備考
	施設名	部門	郵便番号	住所		前半	後半	
1	久留米大学病院	臨床検査部・病理診断科病理部	830-0011	福岡県久留米市旭町67	一般、臨床化学・免疫、輸血・移植、臨床血液、臨床微生物、臨床組織細胞、生理機能	37	37	筑後地区
2	社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院	臨床検査センター	830-8543	福岡県久留米市津福本町422	一般、臨床化学・免疫、輸血・移植、臨床血液・染色体、臨床微生物、臨床組織細胞、生理機能	2	2	筑後地区
3	独立行政法人 地域医療機能推進機構 (JCHO) 久留米総合病院	臨床検査科診療部	830-0013	福岡県久留米市柳原町21	一般、臨床化学・免疫、輸血・移植、臨床血液、臨床微生物、臨床組織細胞、生理機能	3	3	筑後地区
4	社会医療法人天神会 新古賀病院	臨床検査部	830-8577	福岡県久留米市天神町120	一般、臨床化学・免疫、輸血・移植、臨床血液、臨床微生物、臨床組織細胞、生理機能	2	2	筑後地区
5	地方独立行政法人 大牟田市立病院	中央検査部	836-8567	福岡県大牟田市宝坂2-19-1	一般、臨床化学・免疫、輸血・移植、臨床血液、臨床組織細胞、生理機能	3	3	筑後地区
6	地方独立行政法人 筑後市立病院	中央検査室	833-0041	福岡県筑後市和泉917-1	一般、臨床化学・免疫、輸血・移植、臨床血液、臨床組織細胞、生理機能	2	2	筑後地区
7	久留米大学医療センター	臨床検査室	830-0863	福岡県久留米市国分町155-1	一般、臨床化学・免疫、輸血・移植、臨床血液、臨床組織細胞、生理機能	2	2	筑後地区
8	一般社団法人朝倉医師会 朝倉医師会病院	臨床検査科	838-0069	福岡県朝倉市来春422-1	一般、臨床化学・免疫、輸血・移植、臨床血液、臨床組織細胞、生理機能	1	1	筑後地区
9	公立八女総合病院	臨床検査科	834-0034	福岡県八女市高塚540-2	一般、臨床化学・免疫、輸血・移植、臨床血液、臨床組織細胞、生理機能	1	1	筑後地区
10	医療法人清和会 長田病院	検査科	832-0059	福岡県柳川市下宮永町523-1	一般、臨床化学・免疫、輸血・移植、臨床血液、生理機能	1	1	筑後地区
11	公立学校共済組合 九州中央病院	検査技術科	815-8588	福岡県福岡市南区塩原3丁目23-1	一般、臨床化学・免疫、輸血・移植、臨床血液、臨床微生物、臨床組織細胞、生理機能	2	2	福岡地区
12	医療法人徳洲会 福岡徳洲会病院	臨床検査科	810-8563	福岡県福岡市中央区地行浜1-8-1	一般、臨床化学・免疫、輸血・移植、臨床血液、臨床微生物、臨床組織細胞、生理機能	2	2	福岡地区
13	医療法人社団水光会 宗像水光会総合病院	臨床検査室	811-3298	福岡県福岡市日野野5丁目7-1	一般、臨床化学・免疫、輸血・移植、臨床血液、臨床微生物、臨床組織細胞、生理機能	2	2	福岡地区
14	日本赤十字社 福岡赤十字病院	検査部	815-8555	福岡県福岡市南区大楠3-1-1	一般、臨床化学・免疫、輸血・移植、臨床血液、臨床微生物、臨床組織細胞、生理機能	2	2	福岡地区
15	独立行政法人国立病院機構 九州医療センター	臨床検査科	810-8563	福岡県福岡市中央区地行浜1-8-1	一般、臨床化学・免疫、輸血・移植、臨床血液、臨床微生物、臨床組織細胞、生理機能	2	2	福岡地区
16	公益社団法人福岡医療団 千鳥橋病院	検査部	812-8633	福岡県福岡市博多区千代5丁目18-1	一般、臨床化学・免疫、輸血・移植、臨床血液、臨床微生物、臨床組織細胞、生理機能	0	1	福岡地区
17	地方独立行政法人福岡市立病院機構 福岡市立こども病院	検査部	813-0017	福岡県福岡市東区香椎照葉5丁目1番1号	一般、臨床化学・免疫、輸血・移植、臨床血液、臨床微生物、生理機能	2	0	福岡地区
18	社会医療法人財団白十字会 白十字病院	臨床検査技術部	819-8511	福岡県福岡市西区石丸4丁目3-1	一般、臨床化学・免疫、輸血・移植、臨床血液、臨床微生物、臨床組織細胞、生理機能	4	4	福岡地区
19	社会保険 田川病院	検査課	826-8585	福岡県田川市上本町10-18	一般、臨床化学・免疫、輸血・移植、臨床血液、臨床微生物、臨床組織細胞、生理機能	1	1	福岡地区
20	産業医科大学病院	臨床検査・輸血部/病理部	807-8556	福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1	一般、臨床化学・免疫、輸血・移植、臨床血液、臨床微生物、臨床組織細胞、生理機能	1	1	北九州地区
21	社会福祉法人 北九州病院 北九州総合病院	検査科	802-8517	福岡県北九州市小倉北区東城野町1番1号	一般、臨床化学・免疫、輸血・移植、臨床血液、臨床微生物、臨床組織細胞、生理機能	2	2	北九州地区
22	独立行政法人国立病院機構 小倉医療センター	臨床検査科	802-8533	福岡県北九州市小倉南区春ヶ丘10-1	一般、臨床化学・免疫、輸血・移植、臨床血液、臨床微生物、臨床組織細胞、生理機能	2	2	北九州地区
23	佐賀大学医学部附属病院	検査部	849-8501	佐賀県佐賀市鍋島5丁目1番1号	一般、臨床化学・免疫、輸血・移植、臨床血液、臨床微生物、臨床組織細胞、生理機能	4	0	佐賀県
24	佐賀県医療センター 好生館	検査部	840-8571	佐賀県佐賀市嘉瀬町中原400番地	一般、臨床化学・免疫、輸血・移植、臨床血液、臨床微生物、臨床組織細胞、生理機能	2	0	佐賀県
25	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 大分県済生会日田病院	検査部	877-1292	大分県日田市大字三和643-7	一般、臨床化学・免疫、輸血・移植、臨床血液、臨床微生物、臨床組織細胞、生理機能	2	2	大分県
26	日本赤十字社 熊本赤十字病院	検査部	861-8520	熊本県熊本市東区長嶺南2丁目1-1	一般、臨床化学・免疫、輸血・移植、臨床血液、臨床微生物、臨床組織細胞、生理機能	2	0	熊本県
27	鹿児島大学病院	検査部	890-0075	鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1	一般、臨床化学・免疫、輸血・移植、臨床血液、臨床微生物、臨床組織細胞、生理機能	4	4	鹿児島県
合 計						90	81	

2027 年度

医療検査学科  
臨地実習の手引き

学籍番号		氏名	
------	--	----	--

# 目 次

1. 医療検査学科臨地実習の目的	1
2. 実習科目・時期・単位	1
3. 実習評価	1～2
4. 留意事項	2～3
5. 個人情報の取り扱いと守秘義務	4
6. 交通事故・災害発生時の対応	5
7. 実習中のインシデント・アクシデント対応	5
8. 誓約書への署名	5
9. 添付 1 個別の学修目標設定	6
添付 2 自己評価基準書・臨地実習自己評価	7～28
添付 3 臨地実習終了時の振り返り	29
添付 4 遅刻・欠席・早退届	31
添付 5 臨地実習に伴う配慮事項申請	32
添付 6 個人情報等および医療機関・衛生検査所等の法人機密 情報保護に関する説明	33～34
添付 7 アクシデント・インシデント報告書	35
添付 8 学生の針刺し・切創・体液暴露時対応マニュアル	36
添付 9 臨床検査学生の臨地実習に関する契約書	37～39
添付 10 個人情報の個人情報および医療機関・衛生検査所等の 法人機密情報の保護に関する誓約書	41

# 1. 医療検査学科臨地実習の目的

臨地実習では学内で学修した知識・技術および態度を実地医療に統合する過程であり、社会に飛び立つための準備期間（精神的な受け入れを含めて）である。学校の講義や実習では体験できない大切な事柄（特に医療人としての心構え）を学ぶ。4年次前期に必修13単位で実施する。

具体的な臨地実習の目標は以下の通りである。

- ① 社会人としての良識を身につける
- ② 臨床検査技師として不可欠な臨床検査の実践技術を習得する
- ③ 臨床検査の意義および精度保証の重要性を認識する
- ④ 検査情報の実践的利用法（病態解析アプローチ手順）を学ぶ
- ⑤ 医療チームの一員として役割と責任を学ぶ

臨地実習前に学生は自ら学修目標を具体的に設定し、臨地実習調整者から助言のもと「個別の学修目標設定」（添付1）をまとめ、目標到達に向け主体的かつ積極的に学修を進める。

# 2. 実習科目・時期・単位

科目名：臨地実習前技能修得到達度評価、臨地実習Ⅰ、臨地実習Ⅱ

時期：5月中旬～8月上旬

単位数：13単位（うち2単位は4年次前期に技能修得到達度評価を実施する）

# 3. 実習評価

## 1) 成績評価

臨地実習施設に依頼した「評価基準書」における評価、出席状況、実習レポート、総括レポートなど各分野での基礎知識、実習態度、実践能力および実習記録等を総合的に評価する。臨地実習では1.必ず実施させる行為（必須行為）、2.必ず見学させる行為（必須見学）、3.実施させることが望ましい行為（推奨行為）、4.見学させることが望ましい行為（推奨見学）について評価する。必須行為・見学については、12週間のうちに必ず実習する。推奨行為は臨地実習施設によるため、

必ずしも実習する必要はない。レポート作成では、「自己評価基準書」(添付 2)を用いて自己評価を行い、実習終了後は学んだ態度や知識、技能、さらに目標達成度、今後の課題と計画についてまとめ「臨地実習終了時の振り返り」(添付 3)を提出する。

また、出席時間が基準に満たない場合、あるいは総合的評価が不十分な場合、単位は認定されない。

## 2) 成績の評価の基準

実習成績は、100 点を満点として評価し、60 点以上を合格とする。

## 3) 欠席

- 当日など急に実習を欠席する場合は、実習指導者に電話連絡し、許可を得た後、事務局に連絡する。また、登校後に「遅刻・欠席・早退届」(添付 4)を提出する。(事務局から臨地実習調整者へ連絡する)
- 感染性の疾患に罹患している恐れがある場合ややむを得ない事由で実習を欠席させることが適当と実習指導者が判断した場合は、実習を欠席するよう命じることがある。

# 4. 留意事項

## 1) 接遇 (態度)

- 実習開始時間に余裕をもって、指定された実習場所へ集合する。
- 実習に必要な基礎知識・技術は、予習をして臨む。
- 欠席、遅刻、早退する場合はかならず事前に連絡する。なお、連絡先は実習指導者の指示に従う。
- 対象者、家族、スタッフに対しては、挨拶、言葉遣い等に十分注意する。また、学生同士の言葉遣いにも注意する。
- 実習をすすめる上で、困ることや分からないことがあった場合は、自分で判断せず臨地実習調整者または実習指導者、スタッフに相談する。
- 対象者および家族からの金銭、品物は受け取らない。
- 貴重品(携帯電話を含む)は出来るだけ実習場所へは持参しない。持参する場合は、各自が責任をもって保管する。
- 実習時間内に実習場所を離れる場合や時間外に実習場所に赴く場合は、実習指導者に了解を得る。

- 対象者、およびその家族に自分自身、実習指導者等の情報(住所、電話番号、メールアドレス等)を伝えない。

## 2) 服装

- 実習時の服装は、各実習において指示された服装で、清潔なものを着用する。
- 名札を必ず身につける。(本学もしくは指定された名札)
- 行き帰りの服装は、学生らしく「清楚」で「清潔」な服装を心掛ける。(病院内を通る場合もあるため、派手な私服の着用を避ける)
- 相手に不快感を与えないよう、身だしなみを整える。
  - 髪：茶髪であれば染め直す。地毛であれば染め直す必要はない。
  - 長い髪は後ろで束ね、出来るだけ結い上げる。横髪は留める。
  - 爪：マニキュアはせず、短く切る。
  - 化粧：控えめにする。(つけまつげはしない)
  - 装飾品や香水は身に着けない。
- 履物は白を基調とした運動靴を着用。スリッパ、ヒール、ブーツ、サンダルは厳禁である。

## 3) 健康管理

- 実習期間の健康管理は、各自の責任において十分留意する。睡眠、食事等に注意して、実習に支障をきたさないようにする。
- 感染の予防に努め、必要時予防接種等を受ける。
- 感染症を疑う症状がある場合には、他者への感染を防ぐように欠席するなどの行動をとる。また、欠席などの連絡は、感染拡大を防ぐために電話で行う。
- 必ず健康診断および抗体検査を受け、その結果を把握し、必要時提示できるようにしておく。
- 実習期間中に体調が悪くなった場合は、速やかに実習指導者に申し出て、指示を受ける。また、実習に際して教員の配慮が必要な場合は事前に申し出る。
- 発熱や急な嘔吐、下痢等の感染性疾患に罹患した可能性がある場合は、速やかに実習指導者および臨地実習調整者に連絡し、病院を受診する。受診の結果は実習指導者および臨地実習調整者の報告し、インフルエンザ、流行性角結膜炎等(学校保健安全法で出席停止を定められている疾患)の場合は事務局にも連絡する。
- 臨地実習施設での配慮が必要な場合は臨地実習調整者へ申し出ること(添

付5)。

#### 4) 対象者の安全確保

- 対象者の安全を守り、事故を起こさないように細心の注意を払って実習を行う。
- 曖昧な知識や技術のまま実習を行うことがないようにし、必ず確認して実施する。
- 対象者やその家族から質問や要望を受けた場合は、実習指導者およびスタッフに相談する。
- 標準予防策を遵守して実習を行う。

#### 5) 実習要件となる検査、ワクチン接種について

- 実習学生は以下のワクチンを接種していることが実習要件となる。  
麻疹・風疹・水痘・ムンプス、B型肝炎
- 抗体価基準値とワクチン接種は、実習前に各自責任をもって、自身の抗体検査結果を確認すること。(入学時抗体検査結果とその後のワクチン接種履歴は大学健康管理センターにて確認可能)

#### 6) その他

- 携帯電話は病院内での使用は禁止する。ただし、実習指導者により許可が得られた場合は使用が認められる。
- 病院敷地内での喫煙は禁じられているので、禁煙を遵守する。

## 5. 個人情報の取り扱いと守秘義務

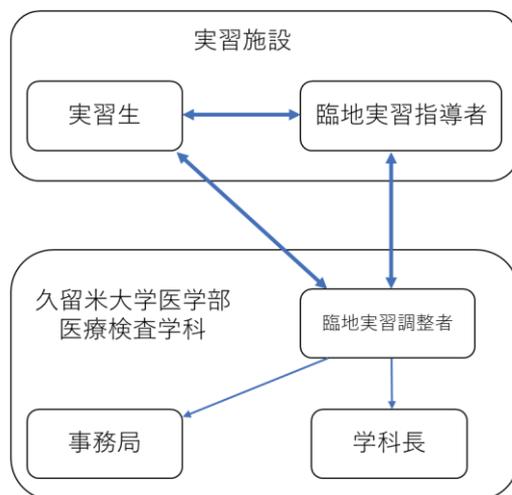
個人情報の保護に関する法律（平成17年4月）に基づいて、個人情報の取り扱いに注意し、個人が特定されないよう留意する。実習施設で知り得た情報についてSNS・インターネット等（Twitter、Instagram、Facebook、LINE）での利用は厳重に注意を払うものである。さらに、実習後も継続して守秘義務は遂行される。

なお、臨地実習中の実習記録やメモ等対象者および家族に関する情報を自宅などの実習施設以外へ持ち出す場合は、事前に実習指導者に申請し許可を得た上で持ち出す。個人情報等および医療機関・衛生検査所等の法人機密情報保護に関する説明（添付6）について熟読し、個人情報は厳重に注意し管理する。

## 6. 交通事故・災害発生時の対応

- 通学途中に交通事故やその他のトラブルが発生した場合は、怪我人の救護、救急・警察への通報を行い、その後すみやかに臨地実習調整者及び実習施設に連絡を取り、指示に従う。
- 臨地実習調整者に連絡が取れない場合には、事務局に連絡を取り、指示に従う。
- 実習施設での災害については、学生自身が安全を確保し各施設の指示に従う。

緊急連絡体制



〈緊急連絡先〉  
平日（8：30～17：00）  
医療検査学科 0942-31-7592  
上記時間外（夜間、休日）  
契約携帯電話 000-1111-2222

## 7. 実習中のインシデント・アクシデント対応

インシデント・アクシデントを起こした場合は、速やかに実習指導者に報告するとともに臨地実習調整者に連絡する。詳細は、「アクシデント・インシデント 報告書」（添付7）に記載の上、実習指導者に提出する。実習指導者に確認頂いた後、臨地実習調整者に提出する。「学生の針刺し・切創・体液暴露時対応マニュアル」を参照する（添付8）。

## 8. 誓約書への署名

「臨床検査学生の臨地実習に関する契約書」（添付9）、「個人情報および医療機関・衛生検査所等の法人機密情報の保護に関する誓約書」（添付10）に署名し、事務局へ提出すること。

※提出用紙については本学科ホームページよりダウンロードし印刷したものをを用いる。

(添付1)

### 個別の学修目標設定

氏 名 \_\_\_\_\_

臨地実習施設名 \_\_\_\_\_

臨地実習期間 \_\_\_\_\_年 月 日 ~ \_\_\_\_\_年 月 日

記入日 \_\_\_\_\_年 月 日

#### I. 臨地実習での目標

1.
2.
3.

(添付2)

自己評価基準書(生理学的検査)

臨地実習施設名: \_\_\_\_\_

分野別指導者: \_\_\_\_\_

学生氏名: \_\_\_\_\_

実習期間: \_\_\_\_\_年 月 日( ) ~ \_\_\_\_\_年 月 日( )

臨地実習の注意・態度・心得・付帯事項等: 共通項目

一般目標	行動目標	行動目標評価	一般目標評価
臨地実習の 注意・態度・心得 付帯事項等	医療人として相応しい身だしなみができる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	医療人として相応しい言葉遣いができる	A・B・C・D・E	
	時間や約束事を守ることができる	A・B・C・D・E	
	臨地実習指導者の指示に適切に答えることができる	A・B・C・D・E	
	実習先のスタッフと良好なコミュニケーションがとれる	A・B・C・D・E	
	実習に際して目的意識をもって臨むことができる	A・B・C・D・E	
	実習先の患者に対して不快感を与えない態度が取れる	A・B・C・D・E	
	実習先の患者の本人確認ができる	A・B・C・D・E	
	守秘義務・個人情報保護遵守に注意を払うことができる	A・B・C・D・E	
	実習施設などを清潔に保つことができる	A・B・C・D・E	
実習施設の医療機器や備品などについて大切に扱うことができる	A・B・C・D・E		

1. 必ず実施させる行為: 生理学的検査

一般目標	行動目標	行動目標評価	一般目標評価
標準 12 誘導 心電図検査	患者の安全に配慮し検査室に誘導できる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	患者に心電図検査の一般的な目的を説明できる	A・B・C・D・E	
	患者に脱衣などの検査準備の指示ができる	A・B・C・D・E	
	電極を手早く正確に装着できる	A・B・C・D・E	
	診断に適した波形記録ができる	A・B・C・D・E	
	ペーストや電極の除去などが手際よく行える	A・B・C・D・E	
	患者へ着衣と検査後の指示ができる	A・B・C・D・E	
	検査中の容態急変に備えた観察・行動ができる	A・B・C・D・E	
	心電図検査を対象とする代表的疾患の概要と検査結果の特徴を説明できる	A・B・C・D・E	
	測定結果を報告書へ正確に記入・転送などができる	A・B・C・D・E	
	全ての手順をスムーズに行える	A・B・C・D・E	

一般目標	行 動 目 標	行動目標評価	一般目標評価
肺機能検査 (スパイロメトリー)	患者の安全に配慮し検査室に誘導できる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	患者に肺機能検査の一般的な目的を説明できる	A・B・C・D・E	
	患者に検査中の注意点が説明できる	A・B・C・D・E	
	クリップなどの器具を手早く正確に装着できる	A・B・C・D・E	
	検査中の呼吸の指示がしっかりとできる	A・B・C・D・E	
	検査器具の除去などが手際よく行える	A・B・C・D・E	
	検査中の容態急変に備えた観察・行動ができる	A・B・C・D・E	
	患者へ検査後の指示ができる	A・B・C・D・E	
	測定結果を報告書へ正確に記入・転送などができる	A・B・C・D・E	

## 2. 必ず見学させる行為:生理学的検査

一般目標	行 動 目 標	行動目標評価	一般目標評価
ホルター心電図 検査のための 検査器具装着	ホルター心電図検査の一般的な目的を説明できる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	各種誘導法の特徴と電極位置を説明できる	A・B・C・D・E	
	検査中の一般的な注意事項が説明できる	A・B・C・D・E	
	電極装着中の容態急変に備えた観察・行動について説明できる	A・B・C・D・E	
肺機能検査 (スパイロメトリー 除く)	各種肺機能検査の一般的な目的を説明できる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	検査中の一般的な注意事項が説明できる	A・B・C・D・E	
	検査中の呼吸の指示について説明できる	A・B・C・D・E	
	肺機能検査を対象とする代表的疾患の概要と検査結果の特徴を説明できる	A・B・C・D・E	
脳波検査	検査中の一般的な注意事項が説明できる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	脳波検査を対象とする代表的疾患の概要と検査結果の特徴を説明できる	A・B・C・D・E	
	検査中の容態急変に備えた観察・行動について説明できる	A・B・C・D・E	
	検査中の一般的な注意事項が説明できる	A・B・C・D・E	
負荷心電図 検査	負荷心電図検査の一般的な目的を説明できる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	機械・器具などの正しい準備ができる	A・B・C・D・E	
	検査中の一般的な注意事項が説明できる	A・B・C・D・E	
	検査中の医師との連携が説明できる	A・B・C・D・E	
	検査中の容態急変に備えた観察・行動について説明できる	A・B・C・D・E	

一般目標	行動目標	行動目標評価	一般目標評価
超音波検査 (心臓)	心臓超音波検査の一般的な目的を説明できる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	検査中の体位変換と呼吸の指示が説明できる	A・B・C・D・E	
	超音波の基本的性質が説明できる	A・B・C・D・E	
	検査中の一般的な注意事項が説明できる	A・B・C・D・E	
	各種測定モードの特徴と検査対象臓器が説明できる	A・B・C・D・E	
	プローブの持ち方など器機取り扱いの注意点が説明できる	A・B・C・D・E	
	心臓超音波検査を対象とする代表的疾患の概要と検査結果の特徴を説明できる	A・B・C・D・E	
	検査中の容態急変に備えた観察・行動について説明できる	A・B・C・D・E	
超音波検査 (腹部)	腹部超音波検査の一般的な目的を説明できる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	検査中の体位変換と呼吸の指示が説明できる	A・B・C・D・E	
	超音波の基本的性質が説明できる	A・B・C・D・E	
	検査中の一般的な注意事項が説明できる	A・B・C・D・E	
	各種測定モードの特徴と検査対象臓器が説明できる	A・B・C・D・E	
	プローブの持ち方など器機取り扱いの注意点が説明できる	A・B・C・D・E	
	腹部超音波検査を対象とする代表的疾患の概要と検査結果の特徴を説明できる	A・B・C・D・E	
	検査中の容態急変に備えた観察・行動について説明できる	A・B・C・D・E	
足関節上腕血圧 比(ABI)検査	ABI検査の一般的な目的を説明できる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	検査中の一般的な注意事項が説明できる	A・B・C・D・E	
	ABI検査を対象とする代表的疾患の概要と検査結果の特徴を説明できる	A・B・C・D・E	
	検査中の容態急変に備えた観察・行動について説明できる	A・B・C・D・E	
	ABI検査の禁忌を説明できる	A・B・C・D・E	

### 3. 実施させることが望ましい行為:生理学的検査

該当項目なし

### 4. 見学させることが望ましい行為

一般目標	行動目標	行動目標評価	一般目標評価
運動誘発電位 検査	運動誘発電位検査の一般的な目的を説明できる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	検査中の一般的な注意事項が説明できる	A・B・C・D・E	
体性感覚誘発 電位検査	体性感覚誘発電位検査一般的な目的を説明できる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	検査中の一般的な注意事項が説明できる	A・B・C・D・E	

[評価基準]

評価	実技評価
A	他の学生に教えられる
B	すべて自分でできる
C	ひと言ヒントがあれば自分でできる
D	模範を見せてもらえればその通りに出来る
E	全てを一緒にやってもらえれば出来る

自己評価基準書(検体検査:血液学的検査)

臨地実習施設名: \_\_\_\_\_

分野別指導者: \_\_\_\_\_

学生氏名: \_\_\_\_\_

実習期間: \_\_\_\_\_年 月 日( ) ~ \_\_\_\_\_年 月 日( )

臨地実習の注意・態度・心得・付帯事項等:共通項目

一般目標	行動目標	行動目標評価	一般目標評価
臨地実習の 注意・態度・心得 付帯事項等	医療人として相応しい身だしなみができる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	医療人として相応しい言葉遣いができる	A・B・C・D・E	
	時間や約束事を守ることができる	A・B・C・D・E	
	臨地実習指導者の指示に適切に答えることができる	A・B・C・D・E	
	実習先のスタッフと良好なコミュニケーションがとれる	A・B・C・D・E	
	実習に際して目的意識をもって臨むことができる	A・B・C・D・E	
	実習先の患者に対して不快感を与えない態度が取れる	A・B・C・D・E	
	守秘義務・個人情報保護遵守に注意を払うことができる	A・B・C・D・E	
	実習施設などを清潔に保つことができる	A・B・C・D・E	
	実習施設の医療機器や備品などについて大切に扱うことができる	A・B・C・D・E	

1. 必ず実施させる行為:血液学的検査

一般目標	行動目標	行動目標評価	一般目標評価
血球計数検査	検体の確認ができる(氏名・抗凝固剤、検体量、凝固、溶血等)	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	機器に検体を間違いなくセットし測定できる	A・B・C・D・E	
	測定結果が基本的に妥当なデータか判断できる	A・B・C・D・E	
	測定結果を報告書へ正確に記入・転送などができる	A・B・C・D・E	
	各項目の基準範囲が説明できる	A・B・C・D・E	
	各種貧血・代表的血液疾患の血球計数結果を説明できる	A・B・C・D・E	
	血球計数機の測定原理の概要が説明できる	A・B・C・D・E	
	至急検体の対処方法が説明できる	A・B・C・D・E	
血液塗抹標本 作成と鏡検	検体の確認ができる(氏名・抗凝固剤、検体量、凝固、溶血等)	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	塗抹標本の良悪とその原因が説明できる	A・B・C・D・E	
	良好な塗抹標本が作製できる(染色含む)	A・B・C・D・E	
	普通染色の原理が説明できる	A・B・C・D・E	

## 2. 必ず見学させる行為:血液学的検査

一般目標	行 動 目 標	行動目標評価	一般目標評価
精度管理	標準作業手順書(SOP)の目的を説明できる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	異常反応やパニック値への対応について説明できる	A・B・C・D・E	
	外部精度管理の種類とその必要性を説明できる	A・B・C・D・E	
	代表的な内部精度管理の種類と方法について説明できる	A・B・C・D・E	
	内部精度管理のフローと意義を説明できる	A・B・C・D・E	
メンテナンス 作業	日々に行うメンテナンスの目的を説明できる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	定期的なメンテナンスの項目と必要性を説明できる	A・B・C・D・E	

## 3. 実施させることが望ましい行為:血液学的検査

一般目標	行 動 目 標	行動目標評価	一般目標評価
血栓・止血検査	検体の確認できる(氏名・抗凝固剤、検体量、検体凝固など)	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	PT、APTT 検査の原理を説明できる	A・B・C・D・E	
	PT、APTT 検査の用手法と装置分析の違いを説明できる	A・B・C・D・E	
	PT、APTT 検査結果の解釈が出来る	A・B・C・D・E	
	出血時間について、原理と結果解釈について説明できる	A・B・C・D・E	
	FDP、D ダイマーの臨床的意義が説明できる	A・B・C・D・E	
	DIC の病態と検査が説明できる	A・B・C・D・E	

### [評価基準]

評価	実 技 評 価
A	他の学生に教えられる
B	すべて自分でできる
C	ひと言ヒントがあれば自分でできる
D	模範を見せてもらえればその通りに出来る
E	全てを一緒にやってもらえれば出来る

自己評価基準書(検体検査:尿・糞便等一般検査)

臨地実習施設名: \_\_\_\_\_

分野別指導者: \_\_\_\_\_

学生氏名: \_\_\_\_\_

実習期間: \_\_\_\_\_年 月 日( ) ~ \_\_\_\_\_年 月 日( )

臨地実習の注意・態度・心得・付帯事項等:共通項目

一般目標	行動目標	行動目標評価	一般目標評価
臨地実習の 注意・態度・心 得付帯事項等	医療人として相応しい身だしなみができる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	医療人として相応しい言葉遣いができる	A・B・C・D・E	
	時間や約束事を守ることができる	A・B・C・D・E	
	臨地実習指導者の指示に適切に答えることができる	A・B・C・D・E	
	実習先のスタッフと良好なコミュニケーションがとれる	A・B・C・D・E	
	実習に際して目的意識をもって臨むことができる	A・B・C・D・E	
	実習先の患者に対して不快感を与えない態度が取れる	A・B・C・D・E	
	守秘義務・個人情報保護遵守に注意を払うことができる	A・B・C・D・E	
	実習施設などを清潔に保つことができる	A・B・C・D・E	
	実習施設の医療機器や備品などについて大切に取扱うことができる	A・B・C・D・E	

1. 必ず実施させる行為:尿・糞便等一般検査

一般目標	行動目標	行動目標評価	一般目標評価
尿定性検査 (機器判定)	検体の確認ができる(氏名 生状、検体量等)	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	色調等の観察が実施できる	A・B・C・D・E	
	試験紙を正しく取り扱い検体を測定できる	A・B・C・D・E	
	測定結果を報告書へ正確に記入・転送などができる	A・B・C・D・E	
	各項目の基準範囲が説明できる	A・B・C・D・E	
	各項目の測定原理が説明できる	A・B・C・D・E	
	各項目が異常値となる代表的疾患名と異常値となる機序が説明できる	A・B・C・D・E	

## 2. 必ず見学させる行為:尿・糞便等一般検査

一般目標	行 動 目 標	行動目標評価	一般目標評価
精度管理	標準作業手順書(SOP)の目的を説明できる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	測定結果のチェック方法について説明できる	A・B・C・D・E	
	異常反応やパニック値への対応について説明できる	A・B・C・D・E	
	外部精度管理の種類とその必要性を説明できる	A・B・C・D・E	
	代表的な内部精度管理の種類と方法について説明できる	A・B・C・D・E	
	内部精度管理のフローと意義を説明できる	A・B・C・D・E	
メンテナンス 作業	日々に行うメンテナンスの目的を説明できる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	定期的なメンテナンスの項目と必要性を説明できる	A・B・C・D・E	

## 3. 実施させることが望ましい行為:尿・糞便等一般検査

一般目標	行 動 目 標	行動目標評価	一般目標評価
尿沈渣検査	検体の確認ができる(氏名 性状、検体量等)	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	標本を正しく作製できる	A・B・C・D・E	
	正しい顕微鏡条件で鏡検できる	A・B・C・D・E	
	正常成分(赤血球、白血球、上皮細胞、塩類・結晶等)の特徴を説明できる	A・B・C・D・E	
	病的成分(糸球体型赤血球、各種円柱、結晶等)の特徴を説明できる	A・B・C・D・E	
	正常成分と病的成分を判別できる	A・B・C・D・E	
	JCCLS に準拠した方法で報告できる	A・B・C・D・E	

### [評価基準]

評価	実 技 評 価
A	他の学生に教えられる
B	すべて自分でできる
C	ひと言ヒントがあれば自分でできる
D	模範を見せてもらえればその通りに出来る
E	全てを一緒にやってもらえれば出来る

自己評価基準書(検体検査:輸血・移植検査)

臨地実習施設名: \_\_\_\_\_

分野別指導者: \_\_\_\_\_

学生氏名: \_\_\_\_\_

実習期間: \_\_\_\_\_年 月 日( ) ~ \_\_\_\_\_年 月 日( )

臨地実習の注意・態度・心得・付帯事項等:共通項目

一般目標	行動目標	行動目標評価	一般目標評価
臨地実習の 注意・態度・心 得付帯事項等	医療人として相応しい身だしなみができる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	医療人として相応しい言葉遣いができる	A・B・C・D・E	
	時間や約束事を守ることができる	A・B・C・D・E	
	臨地実習指導者の指示に適切に答えることができる	A・B・C・D・E	
	実習先のスタッフと良好なコミュニケーションがとれる	A・B・C・D・E	
	実習に際して目的意識をもって臨むことができる	A・B・C・D・E	
	実習先の患者に対して不快感を与えない態度が取れる	A・B・C・D・E	
	守秘義務・個人情報保護遵守に注意を払うことができる	A・B・C・D・E	
	実習施設などを清潔に保つことができる	A・B・C・D・E	
	実習施設の医療機器や備品などについて大切に取扱うことができる	A・B・C・D・E	

1. 必ず実施させる行為:輸血・移植検査

一般目標	行動目標	行動目標評価	一般目標評価
血液型検査 (試験管法)	検体の確認ができる(氏名・抗凝固剤、検体量、検体凝固など)	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	赤血球浮遊液の適切な濃度と作製法を説明できる	A・B・C・D・E	
	適切な濃度の赤血球浮遊液が作製できる	A・B・C・D・E	
	測定用試験管を規則正しく準備できる	A・B・C・D・E	
	判定試薬を正確に規定量滴下できる	A・B・C・D・E	
	血球浮遊液を正確に規定量滴下できる	A・B・C・D・E	
	ABO、Rh 血液型を正しく判定できる	A・B・C・D・E	
	ABO、Rh 血液型測定の適切な反応温度を説明できる	A・B・C・D・E	
	適切な温度で測定できる	A・B・C・D・E	
	血液型検査で使用する遠心力と時間を説明できる	A・B・C・D・E	
	輸血用遠心機を適切に操作できる	A・B・C・D・E	

一般目標	行 動 目 標	行動目標評価	一般目標評価
…続き有 血液型検査 (試験管法)	測定結果を報告書へ正確に記入・転送などができる	A・B・C・D・E	
	ABO 血液型の日本人の出現頻度が説明できる	A・B・C・D・E	
	ABO 血液型の代表的な亜型について説明できる	A・B・C・D・E	
	ABO、Rh 血液型の異型輸血について説明できる	A・B・C・D・E	
	至急検体の対処方法が説明できる	A・B・C・D・E	

## 2. 必ず見学させる行為:輸血・移植検査

一般目標	行 動 目 標	行動目標評価	一般目標評価
精度管理	標準作業手順書(SOP)の目的を説明できる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	血液製剤管理について説明できる	A・B・C・D・E	
	機器管理方法について説明できる	A・B・C・D・E	
	外部精度管理の種類とその必要性を説明できる	A・B・C・D・E	
	代表的な内部精度管理の種類と方法について説明できる	A・B・C・D・E	
	内部精度管理のフローと意義を説明できる	A・B・C・D・E	

## 3. 実施させることが望ましい行為:輸血・移植検査

一般目標	行 動 目 標	行動目標評価	一般目標評価
交差適合試験	検体の確認ができる(溶血の有無等)	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	主試験・副試験の一般的な目的・操作法を説明できる	A・B・C・D・E	
	主試験・副試験を実施し報告書を作成できる	A・B・C・D・E	
	血液製剤との交差適合試験において、副試験を省く理由を説明できる	A・B・C・D・E	
	IgG 感作赤血球を使用する理由を説明できる	A・B・C・D・E	
不規則抗体 検査	検体の確認ができる(氏名・抗凝固剤、検体量、検体凝固等)	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	不規則抗体検査の一般的な目的・操作法を説明できる	A・B・C・D・E	
	不規則抗体の反応温度、反応原理を説明できる	A・B・C・D・E	
	蛋白分解酵素法の特徴を説明できる	A・B・C・D・E	
	不規則抗体検査を実施できる	A・B・C・D・E	
	不規則抗体の同定検査を実施できる	A・B・C・D・E	
	アンチグラムにより消去法にて、不規則抗体を同定できる	A・B・C・D・E	
	適合血を提案できる	A・B・C・D・E	

[評価基準]

評価	実技評価
A	他の学生に教えられる
B	すべて自分でできる
C	ひと言ヒントがあれば自分でできる
D	模範を見せてもらえればその通りに出来る
E	全てを一緒にやってもらえれば出来る

自己評価基準書(検体検査:微生物学的検査)

臨地実習施設名: \_\_\_\_\_

分野別指導者: \_\_\_\_\_

学生氏名: \_\_\_\_\_

実習期間: \_\_\_\_\_年 月 日( ) ~ \_\_\_\_\_年 月 日( )

臨地実習の注意・態度・心得・付帯事項等: 共通項目

一般目標	行動目標	行動目標評価	一般目標評価
臨地実習の 注意・態度・心得・ 付帯事項等	医療人として相応しい身だしなみができる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	医療人として相応しい言葉遣いができる	A・B・C・D・E	
	時間や約束事を守ることができる	A・B・C・D・E	
	臨地実習指導者の指示に適切に答えることができる	A・B・C・D・E	
	実習先のスタッフと良好なコミュニケーションがとれる	A・B・C・D・E	
	実習に際して目的意識をもって臨むことができる	A・B・C・D・E	
	実習先の患者に対して不快感を与えない態度が取れる	A・B・C・D・E	
	守秘義務・個人情報保護遵守に注意を払うことができる	A・B・C・D・E	
	実習施設などを清潔に保つことができる	A・B・C・D・E	
	実習施設の医療機器や備品などについて大切に扱うことができる	A・B・C・D・E	

1. 必ず実施させる行為: 微生物学的検査

一般目標	行動目標	行動目標評価	一般目標評価
培養・Gram 染色 検査  …続き有	検体の確認(氏名、性状、保存状態等)ができる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	微生物検査における無菌操作が実施できる	A・B・C・D・E	
	検体に適した培地を選択し、症状に合わせた選択培地を追加できる	A・B・C・D・E	
	Gram 染色の染色原理と手順が説明できる	A・B・C・D・E	
	Gram 染色を適切に実施できる	A・B・C・D・E	
	顕微鏡を正しく取り扱え、鏡検ができる	A・B・C・D・E	
	鏡検により Gram 陽性・陰性と球菌・桿菌、酵母の鑑別ができる	A・B・C・D・E	
	代表的な細菌名とその疾患、形態が説明できる	A・B・C・D・E	
	スタンダードプリコーション(標準予防策)を理解できる	A・B・C・D・E	
	PPE(个人防护具)を正しい順序と操作で脱着できる	A・B・C・D・E	
	ICT・ASTの役割、細菌検査室との連携の在り方を体験できる	A・B・C・D・E	
	血液培養装置の原理を説明できる	A・B・C・D・E	

一般目標	行 動 目 標	行動目標評価	一般目標評価
培養・Gram 染色 検査	血液培養の結果から次にとるべき対応を説明できる	A・B・C・D・E	
	コロニーからの菌推定ができる	A・B・C・D・E	
	適切な検体であるか評価できる(採取容器、検体外見、鏡検時)	A・B・C・D・E	

## 2. 必ず見学させる行為:微生物検査

該当項目なし

## 3. 実施させることが望ましい行為:微生物学的検査

一般目標	行 動 目 標	行動目標評価	一般目標評価
同定・薬剤感受 性試験	全自動同定薬剤感受性検査システムの原理を説明できる	A・B・C・D・E	
	微量液体希釈法からMIC(最小発育阻止濃度)を求めることができる	A・B・C・D・E	
	MICから薬剤耐性菌の判定ができる	A・B・C・D・E	
	ESBL、MBL、CRE等の薬剤耐性菌の検査方法を説明できる	A・B・C・D・E	
	遺伝子診断(微生物)を説明できる	A・B・C・D・E	
	イムノクロマト法による同定検査の原理を説明できる	A・B・C・D・E	
	代表的な抗菌薬適正使用について説明できる	A・B・C・D・E	
	性状確認培地、カタラーゼ試験、オキシダーゼ試験等の同定法を説明できる	A・B・C・D・E	

### [評価基準]

評価	実 技 評 価
A	他の学生に教えられる
B	すべて自分でできる
C	ひと言ヒントがあれば自分でできる
D	模範を見せてもらえればその通りに出来る
E	全てを一緒にやってもらえれば出来る

自己評価基準書(検体検査:病理学的検査)

臨地実習施設名: \_\_\_\_\_

分野別指導者: \_\_\_\_\_

学生氏名: \_\_\_\_\_

実習期間: \_\_\_\_\_年 月 日( ) ~ \_\_\_\_\_年 月 日( )

臨地実習の注意・態度・心得・付帯事項等:共通項目

一般目標	行動目標	行動目標評価	一般目標評価
臨地実習の 注意・態度・心得・ 付帯事項等	医療人として相応しい身だしなみができる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	医療人として相応しい言葉遣いができる	A・B・C・D・E	
	時間や約束事を守ることができる	A・B・C・D・E	
	臨地実習指導者の指示に適切に答えることができる	A・B・C・D・E	
	実習先のスタッフと良好なコミュニケーションがとれる	A・B・C・D・E	
	実習に際して目的意識をもって臨むことができる	A・B・C・D・E	
	実習先の患者に対して不快感を与えない態度が取れる	A・B・C・D・E	
	守秘義務・個人情報保護遵守に注意を払うことができる	A・B・C・D・E	
	実習施設などを清潔に保つことができる	A・B・C・D・E	
	実習施設の医療機器や備品などについて大切に扱うことができる	A・B・C・D・E	

1. 必ず実施させる行為(病理学的検査)

該当項目なし

2. 必ず見学させる行為(病理学的検査)

一般目標	行動目標	行動目標評価	一般目標評価
精度管理	標準作業手順書(SOP)の目的を説明できる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	試薬管理の概要を説明できる	A・B・C・D・E	
	外部精度管理の種類とその必要性を説明できる	A・B・C・D・E	
	代表的な内部精度管理の種類と方法について説明できる	A・B・C・D・E	
	適切な検体ブロック・標本であるかの判断ができる	A・B・C・D・E	
	内部精度管理のフローと意義を説明できる	A・B・C・D・E	
メンテナンス 作業	日々に行うメンテナンスの目的を説明できる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	定期的なメンテナンスの項目と必要性を説明できる	A・B・C・D・E	

一般目標	行 動 目 標	行動目標評価	一般目標評価
臓器切り出しと臓器写真撮影	検体と受付番号の確認ができる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	臨床所見に応じた写真撮影の方法と注意点を説明できる	A・B・C・D・E	
	適切な切り出し部位の説明ができる	A・B・C・D・E	
	コンタミネーション対策を説明できる	A・B・C・D・E	
	取り扱う試薬の危険性を理解し、それに準じた行動がとれる	A・B・C・D・E	
迅速標本作成から報告	凍結組織標本作製の目的を説明できる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	検体と受付番号の確認ができる	A・B・C・D・E	
	標本作製の手順を説明できる	A・B・C・D・E	
	包埋・凍結法における手技と注意点を説明できる	A・B・C・D・E	
	クリオスタットによる薄切法とその後の処理を説明できる	A・B・C・D・E	
	感染対策を説明することができる	A・B・C・D・E	

### 3. 実施させることが望ましい行為:病理学的検査

一般目標	行 動 目 標	行動目標評価	一般目標評価
HE染色や特殊染色検査	検体と受付番号の確認ができる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	染色前処理について説明できる	A・B・C・D・E	
	HE染色の目的・原理を説明できる	A・B・C・D・E	
	HE染色を適切に実施できる	A・B・C・D・E	
	染色後処理が実施できる	A・B・C・D・E	
	代表的特殊染色の目的・原理・注意点・染色結果を説明できる	A・B・C・D・E	
病理標本観察	臓器別に正常の組織像が説明できる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
細胞診標本作成と鏡検	検体と受付番号の確認ができる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	検体別の適切な処理方法を説明できる	A・B・C・D・E	
	感染対策を説明できる	A・B・C・D・E	
	鏡検を行い、良悪性の判断ができる	A・B・C・D・E	
	鏡検を行い、組織型の推定ができる	A・B・C・D・E	

自己評価基準書(検体検査:生化学的検査)

臨地実習施設名: \_\_\_\_\_

分野別指導者: \_\_\_\_\_

学生氏名: \_\_\_\_\_

実習期間: \_\_\_\_\_年 月 日( ) ~ \_\_\_\_\_年 月 日( )

臨地実習の注意・態度・心得・付帯事項等:共通項目

一般目標	行動目標	行動目標評価	一般目標評価
臨地実習の 注意・態度・心得・ 付帯事項等	医療人として相応しい身だしなみができる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	医療人として相応しい言葉遣いができる	A・B・C・D・E	
	時間や約束事を守ることができる	A・B・C・D・E	
	臨地実習指導者の指示に適切に答えることができる	A・B・C・D・E	
	実習先のスタッフと良好なコミュニケーションがとれる	A・B・C・D・E	
	実習に際して目的意識をもって臨むことができる	A・B・C・D・E	
	実習先の患者に対して不快感を与えない態度が取れる	A・B・C・D・E	
	守秘義務・個人情報保護遵守に注意を払うことができる	A・B・C・D・E	
	実習施設などを清潔に保つことができる	A・B・C・D・E	
	実習施設の医療機器や備品などについて大切に扱うことができる	A・B・C・D・E	

1. 臨地実習において必ず実施させる行為:生化学的検査

該当項目なし

2. 必ず見学させる行為:生化学的検査

一般目標	行動目標	行動目標評価	一般目標評価
精度管理	標準作業手順書(SOP)の目的を説明できる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	測定結果のチェック方法について説明できる	A・B・C・D・E	
	異常反応やパニック値への対応について説明できる	A・B・C・D・E	
	外部精度管理の種類とその必要性を説明できる	A・B・C・D・E	
	代表的な内部精度管理の種類と方法について説明できる	A・B・C・D・E	
	適切な検体であるかの判断ができる(溶血、フィブリン析出など)	A・B・C・D・E	
	内部精度管理のフローと意義を説明できる	A・B・C・D・E	
メンテナンス 作業	日々に行うメンテナンスの目的を説明できる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	定期的なメンテナンスの項目と必要性を説明できる	A・B・C・D・E	

### 3. 実施させることが望ましい行為: 生化学的検査

一般目標	行 動 目 標	行動目標評価	一般目標評価
血液ガス 分析検査	検体の確認ができる(氏名、凝固、保存状態等)	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	検体を適切に取り扱うことができる	A・B・C・D・E	
	測定結果のチェック法について説明できる	A・B・C・D・E	
	異常反応やパニック値への対応について説明できる	A・B・C・D・E	

#### [評価基準]

評価	実 技 評 価
A	他の学生に教えられる
B	すべて自分でできる
C	ひと言ヒントがあれば自分でできる
D	模範を見せてもらえればその通りに出来る
E	全てを一緒にやってもらえれば出来る

自己評価基準書(検体検査:免疫学的検査)

臨地実習施設名: \_\_\_\_\_

分野別指導者: \_\_\_\_\_

学生氏名: \_\_\_\_\_

実習期間: \_\_\_\_\_年 月 日( ) ~ \_\_\_\_\_年 月 日( )

臨地実習の注意・態度・心得・付帯事項等:共通項目

一般目標	行動目標	行動目標評価	一般目標評価
臨地実習の 注意・態度・心得・ 付帯事項等	医療人として相応しい身だしなみができる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	医療人として相応しい言葉遣いができる	A・B・C・D・E	
	時間や約束事を守ることができる	A・B・C・D・E	
	臨地実習指導者の指示に適切に答えることができる	A・B・C・D・E	
	実習先のスタッフと良好なコミュニケーションがとれる	A・B・C・D・E	
	実習に際して目的意識をもって臨むことができる	A・B・C・D・E	
	実習先の患者に対して不快感を与えない態度が取れる	A・B・C・D・E	
	守秘義務・個人情報保護遵守に注意を払うことができる	A・B・C・D・E	
	実習施設などを清潔に保つことができる	A・B・C・D・E	
	実習施設の医療機器や備品などについて大切に扱うことができる	A・B・C・D・E	

1. 臨地実習において必ず実施させる行為:免疫学的検査

該当項目なし

2. 必ず見学させる行為:免疫学的検査

一般目標	行動目標	行動目標評価	一般目標評価
精度管理	標準作業手順書(SOP)の目的を説明できる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	測定結果のチェック方法について説明できる	A・B・C・D・E	
	異常反応やパニック値への対応について説明できる	A・B・C・D・E	
	外部精度管理の種類とその必要性を説明できる	A・B・C・D・E	
	代表的な内部精度管理の種類と方法について説明できる	A・B・C・D・E	
	適切な検体であるかの判断ができる(溶血、フィブリン析出など)	A・B・C・D・E	
	内部精度管理のフローと意義を説明できる	A・B・C・D・E	
メンテナンス 作業	日々に行うメンテナンスの目的を説明できる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	定期的なメンテナンスの項目と必要性を説明できる	A・B・C・D・E	

3. 実施させることが望ましい行為:免疫学的検査

該当項目なし

[評価基準]

評価	実技評価
A	他の学生に教えられる
B	すべて自分でできる
C	ひと言ヒントがあれば自分でできる
D	模範を見せてもらえればその通りに出来る
E	全てを一緒にやってもらえれば出来る

自己評価基準書(その他)

臨地実習施設名: \_\_\_\_\_

分野別指導者: \_\_\_\_\_

学生氏名: \_\_\_\_\_

実習期間: \_\_\_\_\_年 月 日( ) ~ \_\_\_\_\_年 月 日( )

臨地実習の注意・態度・心得・付帯事項等: 共通項目

一般目標	行動目標	行動目標評価	一般目標評価
臨地実習の 注意・態度・心得・ 付帯事項等	医療人として相応しい身だしなみができる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	医療人として相応しい言葉遣いができる	A・B・C・D・E	
	時間や約束事を守ることができる	A・B・C・D・E	
	臨地実習指導者の指示に適切に答えることができる	A・B・C・D・E	
	実習先のスタッフと良好なコミュニケーションがとれる	A・B・C・D・E	
	実習に際して目的意識をもって臨むことができる	A・B・C・D・E	
	実習先の患者に対して不快感を与えない態度が取れる	A・B・C・D・E	
	守秘義務・個人情報保護遵守に注意を払うことができる	A・B・C・D・E	
	実習施設などを清潔に保つことができる	A・B・C・D・E	
	実習施設の医療機器や備品などについて大切に扱うことができる	A・B・C・D・E	

1. 臨地実習において必ず実施させる行為: その他

該当項目なし

2. 必ず見学させる行為: その他

一般目標	行動目標	行動目標評価	一般目標評価
検査前の患者への説明(検査手順含む)	同意書の作成と管理について説明ができる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	挨拶、敬語など社会人として相応しい振る舞いについて説明ができる	A・B・C・D・E	
	患者への声かけの仕方について説明できる	A・B・C・D・E	
	患者の本人確認の方法について説明できる	A・B・C・D・E	
	患者の安全に配慮し検査室に誘導する方法について説明ができる	A・B・C・D・E	
	患者を不愉快にさせない接遇について説明ができる	A・B・C・D・E	
	患者の様子・反応を確認しながらの説明方法について説明ができる	A・B・C・D・E	
	患者の理解度を推測して説明方法について指導を受け、説明ができる	A・B・C・D・E	

一般目標	行 動 目 標	行動目標評価	一般目標評価
チーム医療 (NST・ICT・ 糖尿病療養指導)	各チームを見学参加し、業務内容が説明できる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	各チームにおける臨床検査技師の関わりを説明できる	A・B・C・D・E	
	スタンダードプリコーションを含む院内感染対策・方法等を説明できる	A・B・C・D・E	
	NSTにおいて低栄養者の抽出方法・項目について説明できる	A・B・C・D・E	
	NSTにおいて栄養療法について説明できる。	A・B・C・D・E	
	糖尿病およびその合併症について説明できる	A・B・C・D・E	
	SMBGの測定注意点と意義について説明できる	A・B・C・D・E	
検体採取	各検体採取部位の解剖学的特徴を説明できる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	患者心理に配慮した接遇について説明できる	A・B・C・D・E	
	患者の安全に配慮し検査室に誘導できる	A・B・C・D・E	
	スワブの持ち方など器具取り扱いの注意点が説明できる	A・B・C・D・E	
	疾病や患部の特性に応じた適切な採取方法について説明できる	A・B・C・D・E	
	検体採取における合併症について説明できる	A・B・C・D・E	
	感染管理および医療安全対策について説明できる	A・B・C・D・E	
	微生物検査の検体保存容器と保存方法を説明できる	A・B・C・D・E	
	検体採取の適切な実施方法を説明できる(遺伝子検査含む)	A・B・C・D・E	
消化器内視鏡 検査	消化器内視鏡検査の一般的な目的を説明できる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	患者心理に配慮した接遇について説明できる	A・B・C・D・E	
	患者の安全に配慮し検査室に誘導できる	A・B・C・D・E	
	器具取り扱いの注意点が説明できる	A・B・C・D・E	
	疾病や患部の特性に応じた適切な採取方法について説明できる	A・B・C・D・E	
	検体採取における合併症について説明できる	A・B・C・D・E	
	感染管理および医療安全対策について説明できる	A・B・C・D・E	
	検体保存容器と保存方法を説明できる	A・B・C・D・E	
	検体採取の適切な実施方法を説明できる(遺伝子検査含む)	A・B・C・D・E	

### 3. 実施させることが望ましい行為:その他

一般目標	行 動 目 標	行動目標評価	一般目標評価
採血室業務 (採血行為を除く)	採血に適した清潔な身だしなみを整えることが出来る(爪や清潔な白衣等)	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
	挨拶、敬語など社会人に相応しい振る舞いがとれる	A・B・C・D・E	
	自分から患者に声かけ(挨拶を含む)ができる	A・B・C・D・E	
	患者の本人確認ができる	A・B・C・D・E	
	患者の様子や反応を確認しながら検査説明ができる	A・B・C・D・E	
	採血器具の適切な使用方法を理解し、清潔状態を保って安全に準備できる	A・B・C・D・E	
	解剖学的に血管・神経走行を理解し、採血に適した安全な静脈を選択できる	A・B・C・D・E	
	針先の清潔、安全を保つての採血行為について説明できる	A・B・C・D・E	
	採血後の血液検体の処理を適切に実施できる(分注、混和・氷冷など)	A・B・C・D・E	
	採血手技全体において、患者状態に合わせた声掛けができる	A・B・C・D・E	
	採血後の止血を適切に行える (抗凝固剤使用の確認、皮膚の状態に合わせた止血パッチの選択等)	A・B・C・D・E	
	採血中の容態急変に備えた観察・行動について実施できる	A・B・C・D・E	
	採血禁忌(シャント側・オベ側・点滴側など)を理解できる	A・B・C・D・E	

#### [評価基準]

評価	実 技 評 価
A	他の学生に教えられる
B	すべて自分でできる
C	ひと言ヒントがあれば自分でできる
D	模範を見せてもらえればその通りに出来る
E	全てを一緒にやってもらえれば出来る

臨地実習自己評価(総合)

臨地実習施設名: \_\_\_\_\_

臨地実習指導者: \_\_\_\_\_

学 生 氏 名: \_\_\_\_\_

実 習 期 間: \_\_\_\_\_ 年 月 日( ) ~ \_\_\_\_\_ 年 月 日( )

提 出 日: \_\_\_\_\_ 年 月 日( )

総 合 評 価	A ・ B ・ C ・ D ・ E
分 野 別 評 価	
臨地実習の注意・態度・心得・付帯事項等	A ・ B ・ C ・ D ・ E
生理学的検査	A ・ B ・ C ・ D ・ E
検体検査:血液学的検査	A ・ B ・ C ・ D ・ E
検体検査:尿・糞便等一般検査	A ・ B ・ C ・ D ・ E
検体検査:輸血・移植検査	A ・ B ・ C ・ D ・ E
検体検査:微生物学的検査	A ・ B ・ C ・ D ・ E
検体検査:病理学的検査	A ・ B ・ C ・ D ・ E
検体検査:生化学・免疫学的検査	A ・ B ・ C ・ D ・ E
その他:検査前の患者への説明(検査手順含む)	A ・ B ・ C ・ D ・ E
その他:チーム医療(NST,ICT,糖尿病療養指導)	A ・ B ・ C ・ D ・ E
その他:検体採取	A ・ B ・ C ・ D ・ E
その他:採血業務	A ・ B ・ C ・ D ・ E

(添付3)

臨地実習終了時の振り返り

氏 名 \_\_\_\_\_  
臨地実習施設名 \_\_\_\_\_  
臨地実習期間 \_\_\_\_\_年 月 日 ~ \_\_\_\_\_年 月 日  
記入日 \_\_\_\_\_年 月 日

I. 個別の学修目標設定で記入した臨地実習における学習目標

1.

2.

3.

II. 臨地実習で学んだ態度・知識・技能について書いてください

III. 当初設定した学修目標の達成度はどのくらいですか。(％評価)

IV. この臨地実習で気づいた自分自身の課題および、その克服に向けた自己学修計画を書いてください。

臨地実習調整者氏名 \_\_\_\_\_

記入日 \_\_\_\_\_年 月 日

(添付4)

提出日： 年 月 日

### 遅刻・欠席・早退届

実 習 施 設 名： \_\_\_\_\_

臨地実習指導者氏名： \_\_\_\_\_ 様

下記の通り臨地実習を遅刻・欠席・早退しましたので届出ます。

久留米大学医学部医療検査学科： \_\_\_\_\_

学 籍 番 号： \_\_\_\_\_

実 習 生 氏 名： \_\_\_\_\_

#### 記

日 時： 年 月 日 ( 時 分 ~ 時 分の 時間)

内 容： 遅刻 ・ 欠席 ・ 早退 (各該当に○をつける事)

理 由：

※添付書類（診断書、証明書等）が必要な場合は内容が発生後速やかに提出すること

以上

(添付5)

臨地実習に伴う配慮事項申請

久留米大学医学部医学部医療検査学科

学科長 \_\_\_\_\_ 殿

○ 前期実習機関名

実習期間 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日

○ 後期実習機関名

実習期間 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日

1. 配慮が必要な理由：
2. 具体的な配慮事項：
3. 診断書の添付：（ 有 ・ 無 ）

臨地実習にあたり、上記の通り配慮をお願いしたく申請致します。

年 月 日

久留米大学医学部医療検査学科

学籍番号

学生氏名

㊞

保証人氏名

㊞

学生との続柄（ ）

(添付6)

個人情報等および医療機関・衛生検査所等の法人機密情報保護に関する説明

本説明文章は、臨地実習のカリキュラムとして行われる医療機関・衛生検査所等における実習・研修・見学（以下「臨地実習等」という）において実習生が守るべき事項のうち、特に臨地実習等の誠実な履行、臨地実習等に関連して実習生が取得した個人情報、秘密およびプライバシー（以下、「個人情報等」という）の保護、医療機関・登録衛生検査所等の法人機密情報の保護に関するものである。

1. 個人情報等

1) 「個人情報の保護に関する法律」において、個人情報とは、生存する個人に関する情報であつて、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの（他の情報と容易に照合することが出来、それにより特定の個人を識別することができることとなるものを含む）をいう。

2) 個人情報等には以下の情報などが含まれる。

(1) 特定の患者あるいはその関係者が識別できる情報

(カルテ情報、検査データ、処方箋などを含む)

(2) 実習先医療機関・衛生検査所等の特定の職員あるいはその関係者が識別できる情報

(3) 特定の各学生が識別できる情報

2. 個人情報等の適正管理

1) 実習生は、個人情報の保護に関する法律、各養成施設が定める個人情報保護規程、および実習先医療機関・登録衛生検査所等の定める個人情報保護規程・機密保護規程等を順守し個人情報を適正に管理する。

2) 個人情報等を記録した文書、パソコン、記憶媒体などが紛失あるいは盗難にあわないように最大限配慮し注意する。

3) 以下に掲げる行為は個人情報等の適正管理を妨げるものであり、実習生はこれらの行為を行ってはならない。

(1) 個人情報等を、実習施設の許可なしに使用すること。

(2) 実習施設の文書による許可なく個人情報等を第三者に提供すること。

(3) 個人情報等を実習施設の許可なしに複製・複写すること。

(4) 個人情報等を、実習施設の許可なしに、実習施設の指定した場所以外に持ち出しすること。

(5) 個人情報等を実習施設の許可なしに廃棄すること。

(6) 個人情報等を実習施設の許可なしに、私用パソコンで取り扱うこと。

(7) 個人情報等を、ファイル交換ソフトを入れたパソコンで取り扱うこと。

(8) 個人情報等を、離席時あるいは退出時に、机上等に放置すること。

4) 実習終了時に、実習施設の指示に従い、実習期間中に取得した個人情報等およびその複製物・複写物のすべてを返還または廃棄しなければならない。

5) 実習生は、臨地実習等の終了後においても、個人情報等の保護義務を負う。

### 3. 医療機関・衛生検査所等の法人機密の保護

1) 本文書の「医療機関・衛生検査所等の法人機密情報」とは、以下の情報をいう。

(1) 実習先医療機関・衛生検査所等の経営および事業運営に関する情報で公知でないもの

(2) 公知であっても、第三者に提供されることによって実習先医療機関・衛生検査所等の権利・利益が損なわれる恐れのある情報。

2) 以下は本文書の医療機関・衛生検査所等の法人機密文書ではない。

(1) 情報取得時に既に公知であったもの

(2) 情報取得後に、実習生の責によらず公知となった情報

(3) 情報取得時に既に実習生が保有していた情報

(4) 正当な権限を有する第三者から秘密保護義務を負わずに入手した情報

(5) 法令その他に基づき公的機関等により開示を要求された情報

実習生は、医療機関・衛生検査所等における臨地実習等において、法人機密情報の保護義務を負う。法人機密情報の適正管理については、前項の個人情報等の適正管理に準じる。

### 4. 周知徹底の義務

養成校は実習生に対し、個人情報および法人機密情報の保護義務を履行するために、個人情報等および法人機密情報の取り扱いについて周知徹底しなければならない。

### 5. 誓約書の提出

実習生は、以上の条項を理解したうえで、これを順守する証として、「医療機関・衛生検査所等における臨地実習等の誠実な履行ならびに個人情報の保護に関する誓約書」を提出しなければならない。

(添付7)

アクシデント・インシデント 報告書

臨地実習施設名	
報告者 (学生)	
発生日時	令和 年 月 日 (午前・午後) 時 分頃
臨地実習指導者への報告日時	令和 年 月 日 (午前・午後) 時 分頃
臨地実習調整者への報告日時	令和 年 月 日 (午前・午後) 時 分頃
対象者情報	性別：□男性・□女性 年齢： 歳代
概要 (何がどうした)	
原因	
経過・対応	
被害	対象者への信頼度 □大きく損なう □少し損なう □余り損なわない
	生命への危険度 □極めて高い □高い □可能性低い □ない
	物品 (その他)
被害の状況・程度	
問題点・課題の分析	

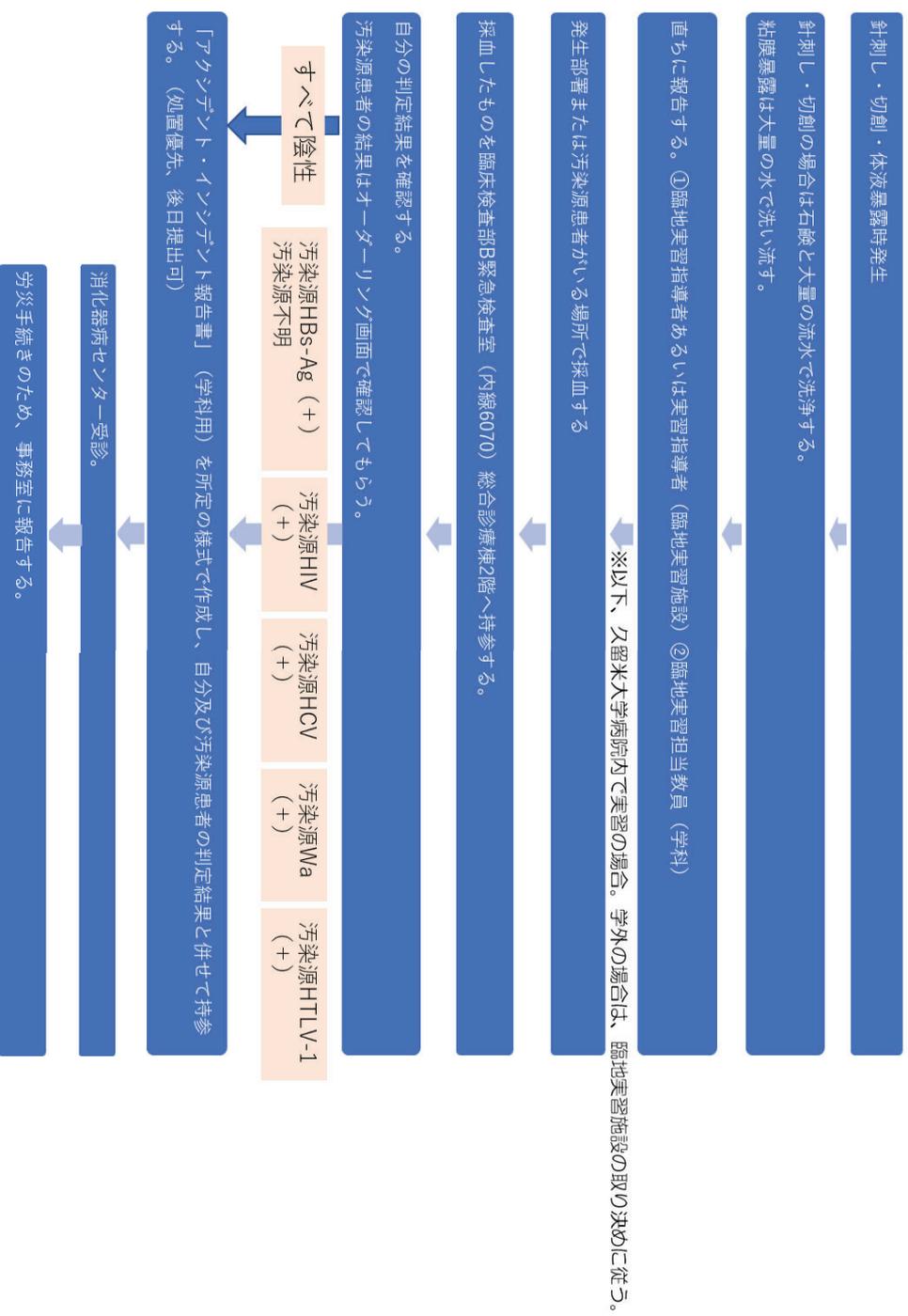
アクシデント・インシデントを引き起こした場合、学生は直ちに臨地実習指導者(実習施設)に報告する。

- ・アクシデント(事故発生)の場合は、臨地実習指導者の指示の下、初期対応が終わったからできるだけ早く、臨地実習調整者(学科)に電話等で報告する。
- ・本報告は、臨地実習中の学生がアクシデント・インシデントの状況を把握、分析し、養成校施設内教育に役立てるものです。

臨地実習指導者： \_\_\_\_\_ 印

臨地実習調整者： \_\_\_\_\_ 印

## 学生の針刺し・切創・体液暴露時対応マニュアル



(添付8)

(添付 9)

### 臨床検査学生の臨地実習に関する契約書

〇〇医療施設名（衛生検査所等の名称）（以下、「甲」という）と、久留米大学医学部医療検査学科（以下「乙」という）は、甲の施設において、第1条に記載する乙の実習生（以下実習生という）の臨地実習（以下実習という）を実施するにあたり、次のとおり契約を締結する。

#### 第1条（実習の対象等）

実習の対象等は次のとおりとする。

養成施設名 久留米大学医学部医療検査科

実習生氏名（学籍番号）

( )

実習期間 年 月 日から 年 月 日  
までの期間（ 週間）で、甲乙が協議して定める学習時間

実習施設名

所在地

#### 第2条（実習の実施方法）

甲は、実習プログラムを策定し、実習を実施する。

#### 第3条（実習教育費）

乙は、甲に対し、第1条の実習教育費として、実習生1人1日当たり  
円を負担し、実習終了後 日以内にこれを支払う。

#### 第4条（実習生の健康状態）

乙は、甲に対し、実習開始前に実習生の健康状態を記載した書類を提出する。

2 本契約書に定める実習にあたって実習生の健康状態に多大な問題が生じた場合には、甲乙双方は協議の上、実習生の実習を中断または中止することができる。

#### 第5条（実習生への規則遵守の徹底）

乙は、実習生が実習をおこなうにあたり、事前に甲が定めた諸規則・心得等を実習生に説明し理解させる、かつ臨地実習指導者の指示に従うように実習生を指導する。

#### 第6条（個人情報、秘密およびプライバシー（以下、個人情報という）の保護）

実習の実施にあたって、甲乙双方は、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号（以下、「個人情報保護法」という））に従い、甲の保有する患者をはじめとする個人情報等、ならびに実習生の個人情報等の漏洩などが生じないように、情報を適正に管理する。

2 前項に基づき、乙は実習生に対し、個人情報等の保護に関する取扱いについての説明文書をもって十分に説明し、実習生の了解のもとに、個人情報等の保護に関する誓約書を提出させるものとする。

3 乙は、甲の求めがある場合、前項の説明文書および誓約書を開示するものとする。

4 乙は、実習生に対し、実習終了後、卒業まで甲の保有する個人情報等の保護を徹底するよう指導監督する。

5 甲は、実習終了後も実習生の個人情報を施設規定に従い適正に管理する。

#### 第7条（個人情報等の保護状況の報告および調査）

甲は、乙に対し、実習中および実習終了後の個人情報等の保護状況について、書面による報告を求めることができるものとし、乙は遅滞なくこれに応じるものとする。

2、甲は、乙に対し、実習中および実習終了後の個人情報等の保護状況について、確認のために調査できるものとし、乙は、正当な理由がある場合を除き、これに協力するものとする。

#### 第8条（法人機密情報の保護）

本契約における甲の法人機密情報とは、以下の情報をいう。

- ・甲の経営および事業運営に関する情報で公知でないもの
- ・公知であっても、第三者に提供されることによって甲の権利利益が損なわれる恐れのある情報

2. 乙は、実習の実施にあたって、甲の法人機密情報の漏洩などが生じないように、法人機密情報の保護について実習生に説明文書をもって適切な指導をするとともに、実習終了後も法人機密の保護を徹底するよう指導監督する。

#### 第9条（実習の中止）

甲または乙は、実習生が以下に示す事項に該当すると判断したときは、甲乙協議の上、実習を中止することができる。

- 1) 甲の定める諸規定・心得等に違反した場合
- 2) 甲の施設内の秩序あるいは規律を乱した場合
- 3) 個人情報等の保護に関して漏洩があった場合
- 4) 甲の法人機密情報の保護に関して漏洩があった場合
- 5) 実習態度の不良などにより実習の目的を果たし得ない場合
- 6) 実習期間中に生じた疾病・傷害等により長期欠席した場合
- 7) 甲による実習指導の継続が不可能となった場合

2. 乙が既に支払った実習委託費については、甲は乙に返還しない。ただし、前項の6) または7) や想定できなかった理由により実習の継続が不可能になった場合は、実習委託費に関して甲乙協議の上、解決するものとする。

#### 第10条（実習生の疾病及び傷害）

実習を原因とする疾病および障害については、甲の故意または過失による場合を除き、乙の責任において対処するものとする。

#### 第11条（損害賠償）

実習生の故意または過失により、甲に事故、器物破損、機密情報の漏洩その他の損害

を与えた場合は、乙は甲に対し、実習生と連携してその賠償責任を負うものとする。

第12条（第3者損害賠償）

実習生の故意または過失により、第3者（甲の従業員を含む）に人的または物的損害を与え、当該第三者と甲との間で損害賠償責任を問われる紛争または訴訟が発生した場合は、乙はその当事者としての誠意をもってその対応にあたるとともに、甲乙は、実習生と連帯して当該第三者に対する賠償責任を負うものとする。

第13条（その他の事項）

本契約に定めのない事項および契約条項に疑義が生じた場合は、それぞれ甲乙協議の上解決する。

本契約の締結を証するために、本契約書を2通作成し、甲乙記名押印の上、各自その1通を保有するものとする。

年 月 日

甲) 所在地  
医療提供施設名又は  
衛生検査所等の名称

代表者名

乙) 所在地 福岡県久留米市東櫛原町 777-1  
養成施設名 久留米大学医学部医療検査科  
代表者名

(添付 10)

令和 年 月 日

個人情報および医療機関・衛生検査所等の法人機密情報の保護に関する誓約書

●●●●●●施設

施設長 ●●●● 様

1. 私は久留米大学医学部医療検査学科の学生として実習先医療機関・衛生検査所等において実習・研修・見学（以下、「臨地実習等」という）を行うにあたり、「個人情報等および医療機関・衛生検査所等の法人機密情報保護に関する説明文書」の事項を十分に理解しましたので、これを順守いたします。
2. 私は、臨地実習等の期間中はもちろん、その後においても、実習等において知りえた個人情報等および法人機密情報を第三者に漏洩いたしません。

以上誓約いたします。

年 月 日

久留米大学医学部医療検査学科： \_\_\_\_\_

学生住所： \_\_\_\_\_

学籍番号： \_\_\_\_\_

学生氏名： \_\_\_\_\_

※日時は書類を記入した日を記載してください

令和 年 月 日

## 臨地実習に伴う配慮のお願い

臨地実習施設名

実習指導者名

本校学生の臨地実習にあたり、貴施設で臨地実習予定の学生のうち健康状態につきまして事前に周知の必要と思われる者につきまして以下のようにご報告させていただきます。つきましては、対象学生の健康状態にご承知おき下さいますようお願い申し上げます。また、学生に関する個人情報保護に関しましてもご配慮いただくようお願い申し上げます。

学籍番号	
氏名	
住所	
実習期間	
配慮が必要な理由	
具体的な配慮等	
診断書添付の有無	

※ご不明な点がございましたら臨地実習担当教員までご連絡下さい。

久留米大学医学部医療検査学科

## 資料15 臨地実習報告書

(資料 〇5. 臨地実習報告書)

### 臨地実習報告書

臨地実習施設名 \_\_\_\_\_

責任者名 \_\_\_\_\_

学 生 氏 名	
臨地実習期間	年      月      日    ~      月      日
臨地実習で学んだ 態度・知識・技能	
学修目標達成度(%評価)	
臨地実習で気づいた課題	
今後の学修計画	
感想・反省	

臨地実習調整者 氏名 \_\_\_\_\_

記入日                      年                      月                      日

<時間帯> 1限：9:00 - 10:30 2限：10:40 - 12:10 3限：13:00 - 14:30 4限：14:40 - 16:10 5限：16:20 - 17:50

		5月第3週目 ～ 8月第1週目 (12週間)																						
		1週間																						
曜日		月					火				水					木				金				
時間 教員	時間	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	
	西 昭徳	医学英語																					臨床医学総論Ⅱ	巡回予定
有永 照子	医療安全管理学	医療安全	医療安全・検体採取	(画像検査学Ⅰ)	臨床化学Ⅱ		臨床栄養学			チーム医療演習	チーム医療演習												巡回予定	巡回予定
武谷 三恵			巡回予定	巡回予定		病態生理学Ⅱ / 臨床医学		生理学				(肉眼解剖実習)	(肉眼解剖実習)			(検査管理総論)								
真田 咲子	(医学英語)		遺伝子・染色体					巡回予定	巡回予定	病理学Ⅱ		(肉眼解剖実習)	(肉眼解剖実習)			(病理検査学実習)	(病理検査学実習)	(組織解剖学)	(組織解剖学)			臨床医学総論Ⅱ		
室谷 健太																				データ基礎Ⅱ	データ基礎Ⅰ			
伴 匡人	化学							(臨床化学実習)	(臨床化学実習)										巡回予定	巡回予定			(遺伝子・染色体実習)	(遺伝子・染色体実習)
小原 仁							マネジメント																	
棚町 千代子			医療安全・検体採取	医療安全・検体採取				巡回予定	巡回予定	チーム医療演習	微生物検査学					検査管理総論		微生物検査学実習Ⅱ	微生物検査学実習Ⅱ					
真茅 孝志								(生理検査実習)	(生理検査実習)	(一般検査学実習)	(一般検査学実習)			(輸血・移植学)	検査管理総論	検査機器総論	巡回予定	巡回予定						
八木 朝子	睡眠医学	生理検査学Ⅰ		(画像検査学Ⅰ)		生理検査学Ⅱ	生理検査実習	生理検査実習	チーム医療演習	チーム医療演習						(検査管理総論)		巡回予定	巡回予定					
関 律子	(医学英語)		医療安全・検体採取	医療安全・検体採取						(一般検査学実習)	(一般検査学実習)	(RI検査学)	(RI検査学)	(輸血・移植学)				巡回予定	巡回予定	血液学	(臨床医学総論Ⅱ)	(遺伝子・染色体実習)	(遺伝子・染色体実習)	
田代 恭子							(臨床化学実習)	(臨床化学実習)	(一般検査学実習)	(一般検査学実習)				輸血・移植学	(検査管理総論)	一般検査学	輸血・移植検査学実習	輸血・移植検査学実習				巡回予定	巡回予定	
吉野 千代			医療安全・検体採取	医療安全・検体採取	臨床化学Ⅱ		臨床化学実習	臨床化学実習		薬品管理学						検査機器総論	(微生物検査学実習Ⅱ)	(微生物検査学実習Ⅱ)				巡回予定	巡回予定	
糸山 貴子			医療安全・検体採取	医療安全・検体採取						一般検査学実習	一般検査学実習					一般検査学	(輸血・移植検査学実習)	(輸血・移植検査学実習)				巡回予定	巡回予定	
福満 千容			巡回予定	巡回予定							薬品管理学					病理検査学実習	病理検査学実習	(組織解剖学)	(組織解剖学)					

- 1)   選択コースで指導
- 2) 括弧付きは主に補佐の役割

資料 17 診療情報管理士認定試験受験資格を認める大学および専門学校の指定に関する規程（令和 3 年 7 月 1 日改正施行）

資料 18 日本病院会 診療情報管理士通信教育 2023 による養成校が行うべき科目

#### 1. 書類の題名

- ・診療情報管理士認定試験受験資格を認める大学および専門学校の指定に関する規程（令和 3 年 7 月 1 日改正施行）  
（設置の趣旨等を記載した書類【資料 17】72 ページ）
- ・日本病院会 診療情報管理士通信教育 2023 による養成校が行うべき科目  
（設置の趣旨等を記載した書類【資料 18】73～74 ページ）

#### 2. 出典

- ・【資料 17】一般社団法人 日本病院会 診療情報管理士認定試験受験資格を認める大学および専門学校の指定に関する規程（令和 3 年 7 月 1 日改正施行）
- ・【資料 18】一般社団法人 日本病院会 診療情報管理士通信教育 2023 年 7 月開講 第 103 期生受講生募集チラシ

#### 3. 引用範囲

- ・【資料 17】診療情報管理士認定試験受験資格を認める大学および専門学校の指定に関する規程（令和 3 年 7 月 1 日改正施行）全文
- ・【資料 18】診療情報管理士通信教育 2023 年 7 月開講 第 103 期生受講生募集チラシ全文

#### 4. その他の説明

診療情報管理士資格取得に係る病院実習の概要を記載する上で、「設置の趣旨等を記載した書類」の本文（45 ページ）と【資料 17】【資料 18】において受験資格を取得するための科目について説明した。

## ○教授の採用に関する特別規程

〔平成3年7月26日〕  
規程第3-2号

第1条 久留米大学の大学院・学部・学科の設置、拡充、維持等に伴い、教育及び研究上必要な場合は、学校法人久留米大学教職員定年規程の規定にかかわらず65歳を超える者を教授として採用することができる。

第2条 教授の採用は、当該学部の教授会及び大学評議会の議を経て理事会において決定する。

第3条 本規程による教授の任用期間は、5年を限度とする。

第4条 教授の給与等待遇については、理事長が別に定める。

附 則

この規程は、平成3年7月26日から施行する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

昭和五十一年文部省令第二号  
専修学校設置基準

第五章 施設及び設備等

(位置及び環境)

**第四十四条** 専修学校の校地及び校舎の位置及び環境は、教育上及び保健衛生上適切なものでなければならない。

(校地等)

**第四十五条** 専修学校は、次条に定める校舎等を保有するに必要な面積の校地を備えなければならない。

2 専修学校は、前項の校地のほか、目的に応じ、運動場その他必要な施設の用地を備えなければならない。

(校舎等)

**第四十六条** 専修学校の校舎には、目的、生徒数又は課程に応じ、教室（講義室、演習室、実習室等とする。）、教員室、事務室その他必要な附帯施設を備えなければならない。

2 専修学校の校舎には、前項の施設のほか、なるべく図書室、保健室、教員研究室等を備えるものとする。

3 専修学校は、目的に応じ、実習場その他の必要な施設を確保しなければならない。

(昼間学科又は夜間等学科のみを置く専修学校の校舎の面積)

**第四十七条** 昼間学科又は夜間等学科のみを置く専修学校の校舎の面積は、次の各号に定める区分に応じ、当該各号に定める面積以上とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情があり、かつ、教育上支障がない場合は、この限りでない。

一 一の課程のみを置く専修学校で当該課程に一の分野についてのみ学科を置くもの 別表第二イの表により算定した面積

二 一の課程のみを置く専修学校で当該課程に二以上の分野について学科を置くもの又は二若しくは三の課程を置く専修学校で、当該課程にそれぞれ一若しくは二以上の分野について学科を置くもの 次のイ及びロに掲げる面積を合計した面積

イ これらの課程ごとの分野のうち別表第二イの表第四欄の生徒総定員四十人までの面積が最大となるいずれか一の分野について同表により算定した面積

ロ これらの課程ごとの分野のうち前イの分野以外の分野についてそれぞれ別表第二ロの表により算定した面積を合計した面積

(設備)

**第四十九条** 専修学校は、目的、生徒数又は課程に応じ、必要な種類及び数の機械、器具、標本、図書その他の設備を備えなければならない。

**第五十条** 夜間において授業を行う専修学校は、適当な照明設備を備えなければなら

らない。

**(他の学校等の施設及び設備の使用)**

**第五十一条** 専修学校は、特別の事情があり、かつ、教育上及び安全上支障がない場合は、**他の学校等の施設及び設備を使用することができる。**

**別表第二 昼間学科又は夜間等学科に係る校舎面積（第四十七条関係）**

イ 基準校舎面積の表

課程の区分	学科の属する分野の区分	学科の属する分野ごとの生徒総定員の区分	面積（平方メートル）
高等課程 又は専門 課程	工業関係、農業関係、 <b>医療関係、衛生関係又は教育・社会福祉関係</b>	<b>四十人まで</b> 四十一人以上	<b>260</b> $260 + 3.0 \times (\text{生徒総定員} - 40)$
	商業実務関係、服飾・家政関係又は文化・教養関係	四十人まで 四十一人以上	200 $200 + 2.5 \times (\text{生徒総定員} - 40)$
一般課程	工業関係、農業関係、医療関係、衛生関係又は教育・社会福祉関係	四十人まで 四十一人以上	130 $130 + 2.5 \times (\text{生徒総定員} - 40)$
	商業実務関係、服飾・家政関係又は文化・教養関係	四十人まで 四十一人以上	130 $130 + 2.3 \times (\text{生徒総定員} - 40)$

備考

- 一 この表の算式中生徒総定員とあるのは、学科の属する分野ごとの生徒総定員をいう。（口の表において同じ。）
  - 二 一の情報関係学科を工業関係の分野に属する学科として設置する場合（他に工業関係の分野に属する学科を置いていない場合に限る。）であつて、当該情報関係学科と他分野学科の教育課程との間に一定以上の関連性があることを確認できる場合における校舎面積は、次のイ及びロに掲げる数の合計数とする（口の表において同じ。）。
- イ 当該情報関係学科と当該他分野学科が、工業関係の分野に属するものとして算定した面積に、当該情報関係学科の定員数が、情報関係定員総数に占める割合を乗じて得た数

□ 当該情報関係学科と当該他分野学科が、当該他分野学科の属する分野に属するものとして算定した面積に、当該他分野学科の属する分野の生徒総定員が、情報関係定員総数に占める割合を乗じて得た数

三 科目等履修生等を学科の属する分野ごとの生徒総定員を超えて相当数受け入れる場合においては、教育に支障のないよう、相当の面積を増加するものとする。  
(□の表において同じ。)

□ 加算校舎面積の表

課程の区分	学科の属する分野の区分	学科の属する分野ごとの生徒総定員の区分	面積（平方メートル）
高等課程 又は専門課程	工業関係、農業関係、医療関係、衛生関係又は教育・社会福祉関係	四十人まで 四十一人以上	180 $180 + 3.0 \times (\text{生徒総定員} - 40)$
	商業実務関係、服飾・家政関係又は文化・教養関係	四十人まで 四十一人以上	140 $140 + 2.5 \times (\text{生徒総定員} - 40)$
一般課程	工業関係、農業関係、医療関係、衛生関係又は教育・社会福祉関係	四十人まで 四十一人以上	110 $110 + 2.5 \times (\text{生徒総定員} - 40)$
	商業実務関係、服飾・家政関係又は文化・教養関係	四十人まで 四十一人以上	100 $100 + 2.3 \times (\text{生徒総定員} - 40)$

## 臨床検査技師学校養成所指定規則

### (指定基準)

**第二条** 令第十条第一項の主務省令で定める基準は、次のとおりとする。

- 一 学校教育法第九十条第一項に規定する者（法第十五条第一号に規定する文部科学大臣の指定を受けようとする学校が大学である場合において、当該大学が学校教育法第九十条第二項の規定により当該大学に入学させた者を含む。）、旧中等学校令（昭和十八年勅令第三十六号）による中等学校を卒業した者又は次条各号のいずれかに該当する者であることを入学又は入所の資格とするものであること。
- 二 修業年限は、三年以上であること。
- 三 教育の内容は、別表第一に定めるもの以上であること。
- 四 別表第一に掲げる各教育内容を教授するのに適当な数の教員を有し、かつ、そのうち六人（一学年に二学級以上を有する学校又は養成所にあつては、一学級増すごとに三を加えた数）以上は、医師、臨床検査技師又はこれと同等以上の学識経験を有する者（以下「医師等」という。）である専任教員であること。ただし、医師等である専任教員の数は、当該学校又は養成所が設置された年度にあつては四人（一学年に二学級以上を有する学校又は養成所にあつては、一学級増すごとに一を加えた数）、その翌年度にあつては五人（一学年に二学級以上を有する学校又は養成所にあつては、一学級増すごとに二を加えた数）とすることができる。
- 五 医師等である専任教員のうち少なくとも三人は、免許を受けた後五年以上法第二条に規定する業務を業として行つた臨床検査技師（以下「業務経験五年以上の臨床検査技師」という。）であること。ただし、業務経験五年以上の臨床検査技師である専任教員の数は、当該学校又は養成所が設置された年度にあつては一人、その翌年度にあつては二人とすることができる。
- 六 一学級の定員は、十人以上四十人以下であること。
- 七 同時に授業を行なう学級の数を下らない数の専用の普通教室を有すること。
- 八 適当な広さの専用の実習室及び図書室を有すること。
- 九 教育上必要な機械器具、標本、模型、図書及びその他の設備を有すること。
- 十 臨地実習を行うのに適当な施設を実習施設として利用しうること及び当該実習について適当な実習指導者の指導が行われること。
- 十一 専任の事務職員を有すること。
- 十二 管理及び維持経営の方法が確実であること。

(別添)

令和3年3月31日

医政発0331第85号

各都道府県知事 殿

厚生労働省医政局長

(公印省略)

### 臨床検査技師養成所指導ガイドラインについて

臨床検査技師学校養成所指定規則については、平成12年に教育科目の名称を定める規定から教育の内容を定める規定への変更や単位制の導入など、カリキュラムの弾力化等の見直しを行って以降大きな改正は行われなかったが、この間、国民の医療へのニーズの増大と多様化、チーム医療の推進による業務の拡大等により、臨床検査技師に求められる役割や知識等は変化してきた。これら臨床検査技師を取り巻く環境の変化に対応するため、令和元年12月から「臨床検査技師学校養成所カリキュラム等改善検討会」を開催し、令和2年4月8日に報告書を取りまとめたところである。

これに伴い、別紙のとおり、新たに「臨床検査技師養成所指導ガイドライン」を定めたので、貴管下の関係機関に対し周知徹底を図られるとともに、貴管下の養成所に対する指導方よろしく願います。

特に臨地実習については、「臨床検査技師学校養成所カリキュラム等改善検討会」において、必ず実施させる行為、必ず見学させる行為、実施することが望ましい行為の3区分として個別具体的な行為が検討され、臨地実習の質を底上げする取組みが図られたことから、貴管下の関係機関に対し周知徹底を図られるとともに、貴管下の養成施設に対する指導方よろしく願います。

なお、本通知は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第245条の4第1項の規定に基づく技術的助言であることを申し添える。

並びに、本ガイドラインは、2022年（令和4年）4月1日から適用することとし、「臨床検査技師養成所指導ガイドラインについて」（平成27年3月31日医政発0331第27号都道府県知事宛本職通知）は、2022年（令和4年）4月1日をもって廃止する。

〔別紙〕

## 臨床検査技師養成所指導ガイドライン

### 1 設置計画書に関する事項

臨床検査技師養成所（以下「養成所」という。）について、都道府県知事の指定を受けようとするとき又は学生の定員を増加しようとするときは、その設置者は、授業を開始しようとする日（学生の定員を増加しようとする場合は変更を予定する日）の1年前までに次に掲げる事項を記載した養成所設置計画書（学生の定員を増加しようとする場合は定員変更計画書）をその設置予定地（学生の定員を増加しようとする場合は養成所の所在地）の都道府県知事に提出すること。

- (1) 設置者の氏名及び住所（法人にあつては、名称及び主たる事務所の所在地）
- (2) 養成所の名称
- (3) 位置
- (4) 設置予定年月日（定員の変更にあつては、変更予定年月日）
- (5) 入学予定定員（定員の変更にあつては、現在の定員及び変更予定定員）
- (6) 長の氏名及び履歴
- (7) 収支予算及び向う2年間の財政計画

### 2 一般的事項

- (1) 臨床検査技師学校養成所指定規則（以下「指定規則」という。）第4条第1項の指定の申請は、授業を開始しようとする日の6か月前までに、その設置予定地の都道府県知事に提出すること。
- (2) 指定規則第5条第1項の変更の承認申請は、変更を行おうとする日の3か月前までに、当該養成所の所在地の都道府県知事に提出すること。
- (3) 養成所の設置者は、国及び地方公共団体が設置者である場合のほか、営利を目的としない法人であることを原則とすること。
- (4) 会計帳簿、決算書類等収支状態を明らかにする書類が整備されていること。
- (5) 養成所の経理が他と明確に区分されていること。
- (6) 敷地、校舎は、養成所が所有するものが望ましく、かつ、その位置及び環境は教育上適切であること。

### 3 学生に関する事項

- (1) 学則に定められた学生の定員が守られていること。
- (2) 入学資格の審査及び選考が適正に行われていること。
- (3) 学生の出席状況が確実に把握されており、出席状況の不良な者については、進級又は卒業を認めないものとする。
- (4) 入学、進級、卒業、成績、出席状況等学生に関する記録が確実に保存されていること。
- (5) 健康診断の実施、疾病の予防措置等学生の保健衛生に必要な措置を講ずること。

### 4 教員に関する事項

- (1) 養成所の長は、保健医療、教育又は学術に関する業務に5年以上従事した者であり、臨床検査技師教育を十分に理解し、明確な教育方針をもった者であること。
- (2) 全日制課程に定時制課程を併せて設置する場合の定時制課程の専任教員については、3名を限度として全日制課程の専任教員の兼任をもってこれにあてることができること。
- (3) 専任教員の1人1週間当たりの担当授業時間数は、過重にならないよう15時間を標準とすること。
- (4) 教員は、その担当科目に応じ、それぞれ相当の経験を有する者であること。
- (5) 臨地実習全体の計画の作成、実習施設との調整、臨地実習の進捗管理等を行う者（以下、「実習調整者」という。）として、専任教員から1名以上配置すること。

### 5 授業に関する事項

- (1) 指定規則別表に定める各教育分野は、別表1に掲げる事項を修得させることを目的とした内容とすること。
- (2) 授業の方法は対面授業によるものとする。
- (3) 単位の計算方法については、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、1単位の授業時間数は、講義及び演習については15時間から30時間、実験、実習及び実技については30時間から45時間の範囲で定めること。  
なお、時間数は実際に講義、実習等が行われる時間をもって計算すること。
- (4) 臨地実習については、実習時間の3分の2以上は医療機関において行うこと。
- (5) 単位を認定するに当たっては、講義、実習等を必要な時間以上受けているとともに、

当該科目の内容を修得していることを確認すること。

また、指定規則別表の備考2に定める大学、高等専門学校、養成所等に在学していた者に係る単位の認定については、本人からの申請に基づき、個々の既修の学習内容を評価し、養成所における教育内容に該当するものと認められる場合には、当該養成所における履修に替えることができること。

(6) 1の授業科目について同時に授業を行う学生の数は、40人以下であること。

ただし、授業の方法、施設、設備その他の教育上の諸条件を考慮して、教育効果を十分にあげられる場合は、この限りでないこと。

(7) 臨地実習前の技能修得到達度評価（臨地実習に必要な技能・態度を備えていることを確認する実技試験等）に当たっては、別表3を参照すること。

## 6 臨地実習に関する事項

(1) 臨地実習は、原則として昼間に行うこと。

(2) 実習施設における実習人員は、当該施設の実情に応じた受入れ可能な数とし、1検査室につき5人程度を限度とすること。

(3) 臨地実習に当たっては、指定規則別表第二に掲げる行為を必ず実施させ、かつ必ず見学させることに加え、別表4に掲げる実施することが望ましい行為を参考として実施すること。

## 7 施設設備に関する事項

(1) 各学級の専用教室の広さは、学則に定める入学定員1人当たり1.65平方メートル以上であること。

↳ 40人

↳  $40 \times 1.65 = 66 \text{ m}^2$

(2) 実習室の広さは、学則に定める入学定員の定員1人当たり3.31平方メートル以上とし、かつ、適正に実習を行うことができる設備機能を有すること。

↳ 40人

↳  $40 \times 3.31 = 132.4 \text{ m}^2$

(3) 教室及び実習室の広さは、内法で測定されたものであること。

(4) 微生物学実習等顕微鏡を使用する実習室は、他の実習室と区分して整備すること。

(5) 教育上必要な機械器具及び標本は、別表2を標準として整備すること。

(6) 教育上必要な専門図書は1000冊以上、学術雑誌は10種類以上を備えていること。

## 8 その他

(1) 入学料、授業料及び実習費等は適当な額であり、学生または父兄から寄附金その他の

資料 20 久留米大学医学部附属臨床検査専門学校 面積基準の算出根拠となる  
規程

1. 書類の題名

久留米大学医学部附属臨床検査専門学校 面積基準の算出根拠となる規程  
(設置の趣旨等を記載した書類【資料 20】 84～90 ページ)

2. 出典

- ・令和 4 年度学校基本調査
- ・久留米大学校舎平面図

3. 引用範囲

- ・久留米大学医学部附属臨床検査専門学校 学校施設調査票 (高等学校等)
- ・久留米大学 大学本館 1 階及び教育 2 号館 1～5 階平面図

4. その他の説明

施設、設備等の整備計画について、共用する医学部附属臨床検査専門学校が、規定の面積基準を満たしている旨を記載する上で、【資料 20】 70～83 ページに示した関連規程等に加え、令和 4 年度学校基本調査において提出した学校施設調査票 (高等学校等) 及び該当の校舎平面図を添付した。

## 施設使用計画（R6～R9年度）

医学科
看護学科

医療検査学科
臨検校

※枠内の数字は学年を示す

## 【R6年度】

前期	4月					5月					6月					7月																					
	月		火		水		木		金		月		火		水		木		金		月		火		水		木		金								
	AM	PM																																			
基礎1号館2階組織実習室	2	2						1	1	1	3	3							1	1	1	3	3							1	1	1					
基礎1号館3階実習室				2		2			1	1			2		2						1	1			2		2			1	1						
本館第1実習室	2		1					2	2		2		2		2	2			2	2	2	2		2		2		2	2	2							
基礎3号館コンピュータ実習室		4	1	4	4	4		4		4	4	4	3	4		4		1				1	4	1	3		3	1		1	1	1	4	1	2	3	1

後期	10月					11月					12月					1月																		
	月		火		水		木		金		月		火		水		木		金		月		火		水		木		金					
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM				
基礎1号館2階組織実習室					1			1		1					1			1		1			2		2	1	2	1		1				
基礎1号館3階実習室								1		1			2		2						1		2		2		1		1		2			
本館第1実習室		2	2		2	2		2	1		2	2	2		2	2			2	2		2		2		2		2		2				
基礎3号館コンピュータ実習室	1	2	1	1	1	1			2	1	2	1	1		1					1	2	1		1		1		1		1	2	1		1

## 【R7、R8、R9年度】

前期	4月					5月					6月					7月																				
	月		火		水		木		金		月		火		水		木		金		月		火		水		木		金							
	AM	PM																																		
基礎1号館2階組織実習室	2	2					2	1	1	1	3	3							1	1	1	3	3							1	1	1				
基礎1号館3階実習室								2	1	1											1	1								1	1					
基礎3号館コンピュータ実習室		4	1	4	4	4		4	3	4	4	4	4	3	4		4	1	1			1	4	1	3		3	1	3	1	1	1	4	1	3	1
生化学実習室			1	2	3			3		2			1	2	3			3		2			1	2	3			3		2						
生理実習室		3		2							3		2									3		2				3		2						

後期	10月					11月					12月					1月																
	月		火		水		木		金		月		火		水		木		金		月		火		水		木		金			
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM		
基礎1号館2階組織実習室					1			1		1					1			1		1			1		1		1		1			
基礎1号館3階実習室					2	2	1	3	1			2	2	2	3	1					2	2	1	3	1			2	2	1	3	1
基礎3号館コンピュータ実習室	2		1	1	1	1			2		2		1		1				2			2		1		1		2		2		
生化学実習室		2						2	1	2		2						2	1	2			2		3		2	1	2			
生理実習室			3	2								3	2									3	2					3	2			



NO	書籍タイトル	出版社	ISBN13	編著者 (1~2名)	数量	見積価格 (税込)
W001	カラー図解 人体の正常構造と機能〈1〉呼吸器 (改訂第4版)	日本医事新報社	9784784932405	坂井建雄:河原克雅	1	5,940
W002	カラー図解 人体の正常構造と機能〈2〉循環器 (改訂第4版)	日本医事新報社	9784784932412	坂井建雄:河原克雅	1	5,940
W003	カラー図解 人体の正常構造と機能〈3〉消化管 (改訂第4版)	日本医事新報社	9784784932429	坂井建雄:河原克雅	1	5,940
W004	カラー図解 人体の正常構造と機能〈4〉肝・胆・膵 (改訂第4版)	日本医事新報社	9784784932436	坂井建雄:河原克雅	1	5,940
W005	カラー図解 人体の正常構造と機能〈5〉腎・泌尿器 (改訂第4版)	日本医事新報社	9784784932443	坂井建雄:河原克雅	1	5,940
W006	カラー図解 人体の正常構造と機能〈6〉生殖器 (改訂第4版)	日本医事新報社	9784784932450	坂井建雄:河原克雅	1	5,940
W007	カラー図解 人体の正常構造と機能〈7〉血液・免疫・内分泌 (改訂第4版)	日本医事新報社	9784784932467	坂井建雄:河原克雅	1	6,130
W008	カラー図解 人体の正常構造と機能〈8〉神経系(1)中枢神経系の構造・高次神経機能・運動系 (改訂第4版)	日本医事新報社	9784784932474	坂井建雄:河原克雅	1	6,130
W009	カラー図解 人体の正常構造と機能〈9〉神経系(2)末梢神経系の構造・自律神経機能・感覚系 (改訂第4版)	日本医事新報社	9784784932481	坂井建雄:河原克雅	1	6,130
W010	カラー図解 人体の正常構造と機能〈10〉運動器 (改訂第4版)	日本医事新報社	9784784932498	坂井建雄:河原克雅	1	6,730
W011	カラー図解 人体の細胞生物学	日本医事新報社	9784784932320	坂井建雄:石崎泰樹	1	5,340
W012	病気がみえる vol.1 消化器 第6版	メディックメディア	9784896327922	医薬情報科学研究所	1	3,660
W013	病気がみえる vol.2 循環器 第5版	メディックメディア	9784896328301	医薬情報科学研究所	1	3,560
W014	病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌 第5版	メディックメディア	9784896327663	医薬情報科学研究所	1	3,360
W015	病気がみえる vol.4 呼吸器 第3版	メディックメディア	9784896327304	医薬情報科学研究所	1	3,460
W016	病気がみえる vol.5 血液 第2版	メディックメディア	9784896326529	医薬情報科学研究所	1	3,160
W017	病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症 第2版	メディックメディア	9784896327205	医薬情報科学研究所	1	3,460
W018	病気がみえる vol.7 脳・神経 第2版	メディックメディア	9784896326864	医薬情報科学研究所	1	3,860
W019	病気がみえる vol.8 腎・泌尿器 第3版	メディックメディア	9784896327717	医薬情報科学研究所	1	3,360
W020	病気がみえる vol.9 婦人科・乳腺外科 第4版	メディックメディア	9784896327120	医薬情報科学研究所	1	3,260
W021	病気がみえる vol.10 産科 第4版	メディックメディア	9784896327137	医薬情報科学研究所	1	3,560
W022	病気がみえる vol.11 運動器・整形外科 第1版	メディックメディア	9784896326321	医薬情報科学研究所	1	3,760

NO	書籍タイトル	出版社	ISBN13	編著者 (1~2名)	数量	見積価格 (税込)
W023	病気がみえる vol.12 眼科 第1版	メディックメディア	9784896327601	医薬情報科学研究所	1	3,260
W024	病気がみえる vol.13 耳鼻咽喉科 第1版	メディックメディア	9784896328158	医薬情報科学研究所	1	3,460
W025	病気がみえる vol.14 皮膚科 第1版	メディックメディア	9784896328189	医薬情報科学研究所	1	3,460
W026	病気がみえる vol.15 小児科 第1版	メディックメディア	9784896328783	医薬情報科学研究所	1	4,450
W027	絵でみる脳と神経 第4版: しくみと障害のメカニズム	医学書院	9784260027830	馬場元毅	1	2,770
W028	臨床脳波学 第6版	医学書院	9784260014496	大熊輝雄	1	17,820
W029	はじめての心電図 第2版増補版	医学書院	9784260020244	兼本 成斌	1	4,450
W030	心電図のやさしい読み方教えます	羊土社	9784758107655	小菅雅美	1	3,560
W031	運動負荷心電図—その方法と読み方	医学書院	9784260008730	川久保清	1	4,950
W032	呼吸機能検査ハンドブック	日本呼吸器学会 肺生理専門委員会 呼吸機能検査ハンド	9784779223877		1	3,960
W033	ココが知りたい!! スパイロメトリーの基本と秘訣!—呼吸機能検査きれいに記録! しっかり判断!	克誠堂出版	9784771903654	柴田正慶	1	4,650
W034	臨床検査技師のための呼吸機能検査ハンドブック	真興交易(株)医書出版部	9784880037523	中村雅夫	1	4,550
W035	ここからはじめる! 神経伝導検査・筋電図ナビ	南山堂	9784525225711	飛松省三	1	3,460
W036	新 神経・筋疾患の電気診断学: 筋電図・神経伝導検査 原理と実際	西村書店	9784890134977	木村淳	1	14,850
W037	血液細胞ノート第1版	文光堂	9784830614187	巽敬之	1	2,470
W038	血液形態アトラス第1版	医学書院	9784260032018	矢富裕	1	5,740
W039	医療情報 第7版 医学・医療編	篠原出版新社	9784867058138		1	3,360
W040	医療情報 第7版 情報処理技術編	篠原出版新社	9784867058145		1	3,360
W041	医療情報 第7版 医療情報システム編	篠原出版新社	9784867058152		1	3,360
W042	第4版 医療情報サブノート	篠原出版新社	9784884123987		1	3,860
W043	医療情報の基礎知識改訂第2版	南江堂	9784524249930		1	2,570
W044	医療情報を見る、医療情報から見る エビデンスと向き合うための10のスキル	金芳堂	9784765318075		1	2,770

NO	書籍タイトル	出版社	ISBN13	編著者 (1~2名)	数量	見積価格 (税込)
W045	医療従事者のための情報リテラシー 第2版	日経BP	9784822253431		1	1,880
W046	基礎から読み解くDPC 第3版	医学書院	9784260012058		1	3,360
W047	DPC点数早見表 2022年4月版	医学通信社	9784870588714		1	4,450
W048	診療点数早見表 2022年4月版	医学通信社	9784870588707		1	4,450
W049	すべてExcelでできる! 経営力・診療力を高めるDPCデータ活用術 増補改訂版	日経BP	9784822239664		1	11,880
W050	人体大全 なぜ生まれ、死ぬその日まで無意識に動き続けられるのか	新潮社	9784105072315	ビル・ブライソン	1	2,670
W051	論文図表を読む作法	羊土社	9784758122603	中山敬一	1	4,450
W052	Essential細胞生物学原書第5版	南江堂	9784524226825	中村桂子	1	7,920
W053	標準病理学	医学書院	9784260036597	北川昌伸/仁木利郎	1	10,890
W054	染色法のすべて	医歯薬出版株式会社	9784263226902	水口國雄	1	5,540
W055	臨床研究アウトプット術	中外医学社	9784498048782		1	4,750
W056	多変量解析法入門 (ライブラリ新数学大系)	サイエンス社	9784781909806		1	2,170
W057	新装改訂版 現代数理統計学	学術図書出版社	9784780608601		1	2,670
W058	数理統計学: 統計的推論の基礎	共立出版	9784320114296		1	2,870
W059	初心者のためのロジスティック回帰分析入門	丸善出版	9784621064931		1	8,710
W060	JMPによるデータ分析 第3版—統計の基礎から多変量解析まで	東京図書	9784489023477		1	2,970
W061	JMPによる医療系データ分析 第2版—統計の基礎から実験計画・アンケート調査まで—	東京図書	9784489023033		1	3,160
W062	JMPによる医療・医薬系データ分析 第2版—分散分析・反復測定・傾向スコアを中心に	東京図書	9784489023736		1	3,160
W063	臨床試験ハンドブック(新装版): デザインと統計解析	朝倉書店	9784254322620		1	19,800
W064	医学統計学ハンドブック	朝倉書店	9784254122299		1	19,800
W065	医学統計学の事典(新装版)	朝倉書店	9784254122336		1	7,920
W066	線形代数学 [新装版]	日本評論社	9784535786547		1	3,760

NO	書籍タイトル	出版社	ISBN13	編著者 (1~2名)	数量	見積価格 (税込)
W067	微分積分学	東京図書	9784489007323		1	2,970
W068	データサイエンスのための数学 (データサイエンス入門シリーズ)	講談社	9784065169988		1	2,770
W069	統計モデルと推測 (データサイエンス入門シリーズ)	講談社	9784065178027		1	2,370
W070	医薬データのための統計解析 (原著第2版)	共立出版	9784320113817		1	10,890
W071	回帰分析(新装版) (統計ライブラリー)	朝倉書店	9784254122466		1	3,160
W072	医学研究における実用統計学	サイエンティスト社	9784914903688		1	11,880
W073	異常値の出るメカニズム	医学書院	9784260032407	河合忠/山田俊幸	1	5,940
W074	わかりやすい生化学：疾病と代謝・栄養の理解のために	ヌーヴェルヒロカワ	9784861740695	石黒伊三雄：篠原力雄	1	2,270
W075	検査値を読むトレーニング：ルーチン検査でここまでわかる	医学書院	9784260024761	本田孝行	1	4,450
W076	診断に自信がつく検査値の読み方教えます！：異常値に惑わされない病態生理と検査特性の理解	羊土社	9784758117432	野口善令	1	3,560
W077	検査値ドリル：基礎・応用問題から鍛える、診断につながるポイントを	羊土社	9784758118958	神田善伸	1	4,250
W078	検査値の読み方・考え方：専門医からのアドバイス	総合医学社	9784883787319	西崎統：村田満	1	5,440
W079	診断に直結する検査値の読み方事典	総合医学社	9784883788729	池田均：中原一彦	1	7,920
W080	こどもの身体の基準：検査値と身体所見	中外医学社	9784498145320	金子一成：吉村健	1	4,350
W081	心電図ドリル	総合医学社	9784883787159	土居忠文：宮尾恵示	1	1,980
W082	心電図のみかた、考えかた、基礎編	中外医学社	9784498037847	杉山裕章	1	5,340
W083	心電図のみかた、考えかた、応用編	中外医学社	9784498037861	杉山裕章	1	6,130
W084	腹部超音波検査ドリル	総合医学社	9784883784578	土居忠文：上田彩未	1	3,460
W085	エキスパートから学ぶ腹部超音波検査：基本走査・カテゴリ判定・鑑別診断	文光堂	9784830637568	竹原靖明：岡庭信司	1	6,430
W086	心エコーハンドブック 基礎と撮り方	金芳堂	9784765317702	竹中克：戸出浩之	1	3,960
W087	小児心電図のみかた、考えかた	中外医学社	9784498145702	三浦大：山岸敬幸	1	6,730
W088	小児超音波検査のみかた、考えかた	中外医学社	9784498145481	市橋光：野中航仁	1	5,140

NO	書籍タイトル	出版社	ISBN13	編著者 (1~2名)	数量	見積価格 (税込)
W089	小児エコーの撮影法と正常像がぜんぶわかる！：腹部・体表・心臓・頭部を完全マスター	金芳堂	9784765317931	日本小児超音波研究会	1	5,740
W090	小児エコーの撮影法と異常像がぜんぶわかる！：腹部・体表・頭部・心臓・肺・救急を完全マスター	金芳堂	9784765318723	日本小児超音波研究会	1	6,230
W091	下肢静脈エコーの攻略法：web動画みて！マネて！いざ実践！	メディカ出版	9784840465335	山本哲也	1	6,930
W092	実践臨床生殖免疫学	中外医学社	9784498060883	柴原浩章	1	10,890
W093	図説よくわかる臨床不妊症学 一般不妊治療編	中外医学社	9784498076822	柴原浩章：森本義晴	1	4,550
W094	図説よくわかる臨床不妊症学 生殖補助医療編	中外医学社	9784498076884	柴原浩章：森本義晴	1	5,540
W095	臨床検査学基礎実習	医歯薬出版	9784263223208	鈴木優治：信岡学	1	2,970
W096	臨床化学検査学実習書	医歯薬出版	9784263223215	大西英文：狩野元成	1	2,970
W097	血液検査学実習書	医歯薬出版	9784263223222	三村邦裕	1	3,360
W098	輸血・移植検査学実習書	医歯薬出版	9784263223239	永尾暢夫	1	2,970
W099	遺伝子検査学実習書	医歯薬出版	9784263223253	岩谷良則	1	3,560
W100	一般検査学実習書	医歯薬出版	9784263223260	市村輝義：辰喜亮介	1	3,160
W101	病理検査学実習書	医歯薬出版	9784263223277	吾妻美子：佐藤健次	1	3,760
W102	微生物検査学実習書	医歯薬出版	9784263223284	森田耕司	1	3,560
W103	免疫検査学実習書	医歯薬出版	9784263223246	加藤亮二：利光央	1	3,560
W104	生理機能検査学実習書	医歯薬出版	9784263223291	今井正	1	3,960
W105	生理検査学・画像検査学	医学書院	9784260014182	谷口信行	1	4,550
W106	病理学・病理検査学	医学書院	9784260014359	仁木利郎：福嶋敬直	1	3,960
W107	臨床化学	医学書院	9784260014748	前川真人	1	4,450
W108	臨床医学総論	医学書院	9784260017039	小山高敏：戸塚実	1	5,740
W109	血液検査学	医学書院	9784260015097	矢富裕：遇山薫	1	3,960
W110	遺伝子検査学	医学書院	9784260015196	宮地勇人：横田浩充	1	3,760

NO	書籍タイトル	出版社	ISBN13	編著者 (1~2名)	数量	見積価格 (税込)
W111	検査機器総論・検査管理総論	医学書院	9784260016360	横田浩充：大久保滋夫	1	3,760
W112	臨床検査医学総論	医学書院	9784260015080	矢冨裕：横田浩充	1	3,160
W113	微生物学・臨床微生物学・医動物学	医学書院	9784260017015	一山智：田中美智男	1	5,340
W114	基礎医学：人体の構造と機能	医学書院	9784260017534	岩谷良則：岩谷良則	1	5,740
W115	臨床検査総論	医学書院	9784260016650	伊藤機一：松尾収二	1	2,970
W116	免疫検査学	医学書院	9784260016483	折笠道昭	1	5,540
W117	トータル人体の構造と機能第5版(原書15版)	丸善	9784621303566	桑木共之ら編	1	9,900
W118	WHO分類改訂第4版による白血病・リンパ系腫瘍の病態学第1版	中外医学社	9784498225169	木崎 昌弘， 田丸 淳一	1	13,860
W119	臨床に直結する血栓止血学 改訂2版	中外医学社	9784498125797	朝倉 英策	1	9,700
W120	ICD-10 1巻 内容例示表	日本病院共済会	9784875116745		1	7,920
W121	ICD-10 2巻 総論	日本病院共済会	9784875116752		1	5,940
W122	ICD-10 3巻 索引表	日本病院共済会	9784875116769		1	8,910
W123	ICD-O 国際統計分類 腫瘍学 3.1版	日本病院共済会	9784875117711		1	6,430
W124	ICDのABC 令和3年版	日本病院共済会	9784875118619		1	590
W125	実践&入門 診療情報管理パーフェクトガイド 2019年新版	医学通信社	9784870587090		1	2,570
W126	HL7 FHIR: 新しい医療情報標準	丸善出版	9784621304914		1	8,310
W127	医療系スタッフのための情報システム入門 改訂第2版	学研メディカル秀潤社	9784780904130		1	3,160
W128	院内ビッグデータ分析による病院機能高度化	じほう	9784840748575		1	2,570
W129	MEの基礎知識と安全管理 改訂第7版	南江堂	9784524246564	監修 山本浩一 監修 山本浩一	1	5,740
W130	詳説 電気回路演習-初めて学ぶ問と解-	科学情報出版	9784904774151	著者：横山道央	1	2,770
W131	【73-1】JISハンドブックJIS HB 73-1 医療機器 I 2021	日本規格協会	9784542188778	編集：日本規格協会	1	13,460
W132	第2種ME技術実力検定試験マスター・ノート 2nd edition	メジカルビュー社	9784758319232	編集：中村藤夫	1	5,140

NO	書籍タイトル	出版社	ISBN13	編著者 (1~2名)	数量	見積価格 (税込)
W133	2022 第2種ME技術実力検定試験全問解説	秀潤社	9784780904543	編著 安達隆雄(監修)・石川浩司(監修)	1	3,760
W134	医療系資格試験のための電気・臨床工学技士国家試験・第2種ME技術実力検定試験	コロナ社	9784339072297	著者：仲田昭彦	1	3,160
W135	大規模計算時代の統計推論: 原理と発展	共立出版	9784320114340		1	8,710
W136	Rと事例で学ぶベイジアンネットワーク (原著第2版)	共立出版	9784320114654		1	3,960
W137	Rによるインタラクティブなデータビジュアライゼーション: 探索的データ解析のためのplotlyとshiny	共立出版	9784320124868		1	4,750
W138	数式不要! はめ込み統計学 EZRでできる保健医療統計これだけ	医学書院	9784260045827		1	2,570
W139	Rによる 統計的学習入門	朝倉書店	9784254122244		1	6,730
W140	実践Data Scienceシリーズ RとStanではじめる ベイズ統計モデリングによるデータ分析入門 (K5情報科学専門書)	講談社	9784065165362		1	2,970
W141	データ解析のための統計モデリング入門——一般化線形モデル・階層ベイズモデル・MCMC (読者の科学)	岩波書店	9784000069731		1	3,760
W142	多変量解析入門——線形から非線形へ	岩波書店	9784000056533		1	3,460
W143	Rによる医療統計学 原書2版	丸善出版	9784621087756		1	3,760
W144	EZRでやさしく学ぶ統計学 改訂3版 ～EBMの実践から臨床研究まで～	中外医学社	9784498109186		1	4,550
W145	超入門! Rでできるビジュアル統計学 学会・論文発表に役立つデータ可視化マニュアル	金芳堂	9784765318808		1	3,560
W146	エモリー大学クライバウム教授の生存時間解析	サイエンス・スト 社	9784860790721		1	5,940
W147	データ解析のためのロジスティック回帰モデル	共立出版	9784320111400		1	8,110
W148	製薬医学入門 くすりの価値最大化をめざして	メディカル・サイ エンス・インター ナショナル	9784815730536		1	5,340
W149	統計的学習の基礎 —データマイニング・推論・予測—	共立出版	9784320123625		1	13,860
W150	Kaggleで勝つデータ分析の技術	技術評論社	9784297108434		1	3,240
W151	米国SWOGに学ぶ がん臨床試験の実践 第2版(原書第3版)	医学書院	9784260018647		1	4,950
W152	がん臨床試験テキストブック: 考え方から実践まで	医学書院	9784260016452		1	4,950
W153	Rで学ぶ統計的データ解析 (データサイエンス入門シリーズ)	講談社	9784065186190		1	2,970
W154	ベイズ統計モデリング: R,JAGS, Stanによるチュートリアル 原著第2版	共立出版	9784320113169		1	8,110

NO	書籍タイトル	出版社	ISBN13	編著者 (1~2名)	数量	見積価格 (税込)
W155	StanとRでベイズ統計モデリング (Wonderful R)	共立出版	9784320112421		1	2,970
W156	アドバンスト分析疫学 369の図表で読み解く疫学的推論の論理と数理	メディカルサイエンス・インターナショナル	9784815701895		1	5,540
W157	医学的研究のデザイン 研究の質を高める疫学的アプローチ 第4版	メディカルサイエンス・インターナショナル	9784895927833		1	4,650
W158	医学的介入の疫学デザインと統計 ランダム化/非ランダム化研究から傾向スコア、操作変数法まで	メディカルサイエンス・インターナショナル	9784815701994		1	4,050
W159	疫学介入の疫学デザインと統計 ランダム化/非ランダム化研究から傾向スコア、操作変数法まで	メディカルサイエンス・インターナショナル	9784895927574		1	3,660
W160	医学的測定尺度の理論と応用 -妥当性、信頼性からG理論、項目反応理論まで	メディカル・サイエンス・インターナショナル	9784895928670		1	4,550
W161	実践Data Scienceシリーズ データ分析のためのデータ可視化入門 (KS情報科学専門書)	講談社	9784065164044		1	3,160
W162	Rグラフィックスブック 第2版 -ggplot2によるグラフ作成のレシピ集	オライリー・ジャパン(発売:オーム社)	9784873118925		1	3,560
W163	心臓・循環の生理学	メディカルサイエンスインターナショナル	9784895926898	岡田隆夫 監訳	1	7,520
W164	若葉マーク臨床検査学エッセンス・ノート 1 臨床生理機能検査	メジカルビュー社	9784758314619	磯部智範 編集	1	4,150
W165	睡眠学第2版 日本睡眠学会編集	朝倉出版	9784254301205		1	27,720
W166	睡眠障害国際分類第3版 日本睡眠学会診断分類委員会訳	ライフ・サイエンス	9784898016282		1	4,450
W167	臨床睡眠検査マニュアル 日本睡眠学会編	ライフ・サイエンス	9784898015278		1	5,440
W168	AASMによる睡眠および随伴イベントの判定マニュアル ver.2.5	ライフ・サイエンス	9784898016312		1	4,750
W169	スタンダード細胞診テキスト	医歯薬出版株式会社	9784263226841		1	8,910
W170	細胞診を学ぶ人のために 第6版	医学書院	9784260037990		1	9,700
W171	細胞診ガイドライン1 婦人科・泌尿器	金原出版	9784307050432		1	5,440
W172	細胞診ガイドライン2 乳腺・皮膚・軟部骨	金原出版	9784307050449		1	5,440
W173	細胞診ガイドライン3 甲状腺・内分泌・神経系	金原出版	9784307050456		1	5,440
W174	細胞診ガイドライン4 呼吸器・胸腺・体腔液・リンパ節	金原出版	9784307050463		1	5,940
W175	細胞診ガイドライン5 消化器	金原出版	9784307050470		1	5,940
W176	JAMT技術教本シリーズ 一般検査技術教本	丸善出版	9784621301388	監訳:日本臨床検査技師会	1	3,460

176 945,540

# 御 見 積 書

1/1

令和 5 年 2 月 9 日  
見積No. 41274

久留米大学 医学図書館

御中

(株)日本病院共済会 代表取締役 塚 常雄



ご照会の件につき、下記の通り御見積申し上げます。

納入期日： \_\_\_\_\_  
 納入場所： \_\_\_\_\_  
 送 料： \_\_\_\_\_  
 有効期限： \_\_\_\_\_  
 支払条件： \_\_\_\_\_

〒102-0075  
 東京都千代田区三番町9番地15  
 ホスピタルプラザビル1階  
 TEL:03-3264-9888 FAX:03-3222-0016

御見積総額	¥ 28,470
-------	----------

品 名	入 数	数 量	単 位	単 価	金 額
診療情報管理Ⅰ2016 8版5刷		1		8,000	8,000
診療情報管理Ⅱ2016 8版4刷 増刷		1		1,500	1,500
診療情報管理Ⅲ 専門課程 2022 初版2刷		1		10,000	10,000
ICD-10(2013)準拠 内容例示表 簡易版		1		4,500	4,500
宅急便					1,882
※梱包手数料を含む (鬼塚 卓也 様)					
[見積合計額]					[ 25,882]
(消費税額等)					( 2,588)
【合 計】					【 28,470】

備 考： \_\_\_\_\_

別添資料 久留米大学医学部医療検査学科 診療情報管理士病院実習施設一覧

No.	実施施設名	所在地		受け入れ人数
		郵便番号	住所	
1	久留米大学病院	830-0011	福岡県久留米市旭町67	35
合 計				35